

第 1 回奥多摩町観光産業振興計画策定委員会

日 時 令和 8 年 4 月 3 0 日 (木)

午前 1 0 時 0 0 分～

場 所 奥多摩町役場地下 1 階 会議室

次 第

1. 開会

2. 委嘱状の交付

3. 委員紹介及び事務局紹介

4. 委員会設置要綱等委員の所掌事項の説明 資料－ 1

5. 委員長及び副委員長の選任について

①委員長の選任

②副委員長の選任

6. 町長諮問

7. 町長あいさつ

8. 委員長あいさつ

9. 議題

(1) 観光産業振興計画策定について

① 6 期長計における観光産業課所管関連事業・諸課題について

資料－ 2

② 観光産業振興計画策定の方向性を取り巻く背景について

資料－ 3

③ 観光産業振興アドバイザーの事前調査について

資料－ 4

④ 沿線まると株式会社との取り組みについて

資料－ 5 ①②

(2) 今後のスケジュールについて 資料－ 6

(3) その他

1 0. 閉 会

奥多摩町観光産業振興計画策定委員会 委員名簿

【委員】

No	所属	役職	氏名 (敬称略)	備考
1	奥多摩ふれあいまつり実行委員会 奥多摩ふれあい広場フェスティバル実行委員会	副会長	原島 俊二	
2	奥多摩町小口事業資金融資制度等審議会	会長	青木 高幸	
3	青梅商工会議所 奥多摩支所	経営指導員	小笠原 広志	
4	奥多摩エリア沿線DMO協議会 沿線まるごと株式会社	取締役 プロジェクトマネージャー	田治米 伸康	
5	奥多摩町農業推進協議会	副会長	増田 昭太郎	
6	奥多摩町内水面漁業振興事業協議会	会長	鈴木 清春	
7	奥多摩町農林業等振興事業協議会	会長	塩野 廣行	
8	奥多摩町林業振興事業協議会	会長	原島 幹典	
9	多摩大学 経営情報学部	准教授	野坂 美穂	WEB参加

【事務局】

所属	役職	氏名	備考
奥多摩町役場 観光産業課	課長	大串 清文	
奥多摩町役場 観光産業課 観光商工係	課長補佐	小峰 淳一	
奥多摩町役場 観光産業課 観光商工係	観光産業振興アドバイザー	小林 雅樹	
株式会社 さとゆめ	プロデューサー	八間川 結子	

【オブザーバー】

所属	役職	氏名	備考
奥多摩町役場 観光産業課 農林水産係	係長	加藤 洋平	
奥多摩町役場 観光産業課 森林保全活用係	課長補佐	鈴木 敏春	
奥多摩町役場 観光産業課 森林再生担当	係長	原島 保	
奥多摩エリア沿線DMO協議会 沿線まるごと株式会社	コーディネーター	渡辺 舞	
株式会社 さとゆめ	コンサルタント	越山 翔太	WEB参加
株式会社 HIS	サブチームリーダー	日高 未紗子	

奥多摩町観光産業振興計画策定委員会設置要綱

令和8年3月2日要綱第28号

(設置)

第1条 長期総合計画に基づく奥多摩町観光産業振興計画（以下「計画」という。）の策定に必要な検討を行うため、奥多摩町観光産業振興計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、町長の諮問に応じて、次の各号に掲げる事項について調査、審議を行い、町長に答申する。

- (1) 観光産業振興計画に関すること。
- (2) 現行の観光事業及び産業事業の見直しに関すること。
- (3) その他、町長が特に必要と認めること。

(組織)

第3条 委員会は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、町長が委嘱する。

- (1) 識見を有する者
- (2) 各種団体等から選出された者

(任期)

第4条 委員の任期は、当該諮問に係る答申をもって終了する。

2 町長は、委員が欠けたときは、後任の委員を委嘱することができる。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長各1名を置く。

- 2 委員長は、委員の互選とする。
- 3 委員長は会務を総理し、委員会を代表する。
- 4 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 第3条の規定により、委員が委嘱された後、最初に招集すべき会議は、第6条の規定にかかわらず町長が招集する。

(報酬)

第7条 委員には、報酬は支給しない。ただし、委員会に出席した者に対しては、旅費として議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例（昭和31年条例第11号）に規定する旅費相当額を支給する。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、観光産業課において処理する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

1 この要綱は、公布の日から施行する。

奥多摩町観光産業振興計画策定委員会
委員長 原 島 俊 二 殿

奥多摩町長 師 岡 伸 公



奥多摩町観光産業振興計画の策定等に関する諮問について

奥多摩町観光産業振興計画策定委員会設置要綱（令和8年要綱第28号）第2条の規定に基づき、下記のとおり諮問する。

記

1. 観光産業振興計画の策定に関すること

〔諮問の内容及び理由〕

町の第6期長期総合計画（以下「6期長計」という。）に基づき、観光分野も含めた産業振興計画の策定が必要であり、その策定にあたっては、6期長計に定めるコンセプト「活性化」「持続化」「効率化」を踏まえ、観光産業課所管に係る施策の方向性や具体的な取組みについて、6期長計と同様に横断的な計画となるよう審議をお願いする。

2. 現行の観光事業及び産業事業の見直しに関すること

〔諮問の内容及び理由〕

町は昭和30年町制施行以来「観光立町」を標榜し、各種観光施設の整備及び観光振興に係る各種事業の実施のほか、木質資源の活用も含め各種産業事業を実施しているが、時代のニーズや現状における諸課題により、当初の目的を達成できていない施設及び事業もあることから、スクラップ・アンド・ビルドの観点で抜本的な見直しに向けた審議をお願いする。

3. その他、特に必要と認めること

〔諮問の内容及び理由〕

秩父多摩甲斐国立公園の立地自治体として、国はインバウンド需要を踏まえ「観光立国」を推進するなか、国立公園の利活用に係る各種補助制度を整備していることから、国及び東京都等の各種補助制度を活用した町における新たな取り組みに向けた審議をお願いする。

奥多摩町第 6 期長期総合計画における観光産業課所管関連事業・諸課題について

令和 8 年 4 月計画策定委資料／観光産業課長・大串

令和 7 年 3 月に「第 6 期長期総合計画」が策定されたことを踏まえ、その基本計画における観光産業課（特別会計を除く）関連事業や諸課題について、課長として下表のとおり整理し、その課題解決に向けた今後の方向性を示すものであり、6 期長計に規定された「観光産業振興計画」の策定を具体的に検討し、3 係の所管する個別計画を包含して策定したいと考えている。
なお、策定にあたっては、関係する会議体・団体において、個別具体的に検討する一方、長計同様に横断的な計画・事業展開となるように留意するものとする。

6 期長計における観光産業課関連のコンセプト・基本計画・施策の方向性と当面の諸課題			
長計まちの将来像「自然の中でわたしがくらしつながら挑戦できるおくたま」			
	観光商工係	農林水産係	森林保全活用係・森林再生事業事務局
6 期長計 コンセプト 基本計画 施策方向性 …白抜き丸数字 取組み例 …○ →係名／事業等	コンセプト「活性化」 将来像 1「生まれる・育む・挑むまちづくり」 ②起業の支援 ○誰でも起業できる環境の整備 ○創業支援の推進 ○起業促進・新規事業支援 ○拠点としての空家活用		
	③観光資源の開発 ○インバウンドを想定した観光資源の開発と環境の整備 ○新たな観光スポットの発掘 ○新たな特産品の開発・開発支援の充実 ⇒【再掲／インバウンド関連】 コンセプト「効率化」 将来像 3「リンク/シェアするまちづくり」 ③町の魅力をシェアする		
	将来像 2「創る・繋がる・広がるまちづくり」 ①広域連携の推進 →観光商工係／西多摩広域行政圏・大多摩観光連盟等 ②幅広い世代が参加できる事業の充実・開拓 ○観光客や関係人口も参加できる事業の開拓 →観光商工係／さとゆめ・沿まる・HIS との包括連携協定 農林水産係／クラインガルテン（ふれあい農園）		
	将来像 3「賑わう・満ちる・巡るまちづくり」 ①まちの活性化 ○地元商店との連携 ○駅前を中心としたにぎわいづくり ②観光資源の活用 ○空き家や空き地を活用した観光駐車場の設置 ⑤暮らしの満足度向上 ○観光ごみステーションの設置検討		
当面の課題	コンセプト「持続化」 将来像 1「サステナブルなまちづくり」 ○観光ごみの対策		
	各種観光イベントの町制施行 70 周年記念冠冠（鍾乳洞等も含む） 観光施設維持管理・雲取山五十人平野営場 観光用公衆トイレ清掃体制 観光公害対策（ごみ・駐車場）	獣害対策（サル大規模捕獲・クマ対策） 内水面施設維持管理・ソフト事業検討 農作物（わさび・治助イモ・ワラビ）振興 地域おこし協力隊	森林環境譲与税の活用（森林経営管理制度） 環境政策推進事業（木質資源循環システム）見直し ナラ枯れ対応
所管の 個別計画等	日本一観光用公衆トイレがきれいなまち指針 （今後策定要）観光施設維持管理中長期計画		
	令和 8 年度 6 期長計に基づく「観光産業振興計画」策定 ・ ・ ・ さとゆめ・沿まる・HIS 包括連携（HIS 社員受入れ R7.11～R8・9 年度予定） 都（都市整備局）補助活用、各係の計画を包含して令和 8 年度中に策定		

【令和 7 年度事業展開 ～官民連携強化～】
→観光振興（インバウンド含む誘客）と自然保全（オーバーツーリズム対策）を両立し、持続可能な観光のまちづくり（観光立町）を推進
4 月 町民への多言語化 ・ ・ ・ ・ （一財）地域みらい創造財団（旧：デジタルスマートシティ推進財団）との連携協定
5 月 観光マナー周知啓発 ・ ・ ・ ・ リープ・ノー・トレイス（LNT）との連携協定
6 月 インバウンド含む観光振興 ・ ・ ・ ・ さとゆめ・沿線まるごと・HIS との包括連携協定 ～地域活性化起業人制度・HIS 社員派遣

奥多摩町観光産業振興計画

第 1 回 計 画 策 定 委 員 会

計画策定業務委託事業者／株式会社さとゆめ
四者協定（奥多摩町・さとゆめ・沿線まるごと・HIS）

ご説明事項

1. 奥多摩町観光産業振興計画と策定委員会の位置付け
2. 策定方針・方向性を取り巻く背景
- 3. 今後の観光振興に向けた主な検討課題**
4. 委員会の進め方と今後のスケジュール

協議・ご意見をいただきたい事項

- 全体質疑（策定方針やスケジュール感、委員会の位置付けなどに対して）
- 奥多摩町の観光・観光産業振興計画への期待
- 「観光立町」を目指し大事にしたい考え方、検討すべきテーマやキーワードなど
- 奥多摩町に来てほしい観光客イメージや、知ってほしい地域資源、解決したい課題（「検討課題」）など

奥多摩町観光産業振興計画と策定委員会の位置付け

- 第6期奥多摩町長期総合計画を踏まえた「実施計画・個別計画」の一部でありつつ、町の活性化に向けて重要な計画と位置付け
- 「住民との協創」のもと、住民参画のWSなどを踏まえ、本委員会内で方向性や施策を決定づけていく

第6期奥多摩町長期総合計画と奥多摩町観光産業振興計画の位置付け・役割

計画策定委員会の位置付け



- 基本構想となる「まちの将来像」、基本計画となる3つのコンセプトは共通するものとなる
- 計画期間は観光産業振興計画に令和16年度までとする（ただし、構想・将来像などはより長期的なものとしても検討）
- 「観光立町」に向け、個別・実施計画においても重要な計画の一つと位置付け

策定方針

「まちの将来像」の実現に向けた根拠に基づく現状把握と、実現に向けた住民協創での計画策定を行うとともに、実効性を意識したアクションプランや体制整備・事業展開を検討する。

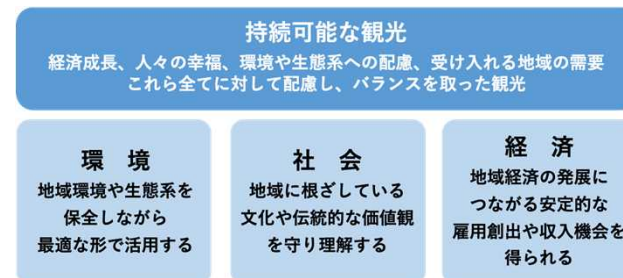
1 奥多摩町の現状を踏まえたエビデンスに基づく計画策定

「観光立町」のまちの将来像（ビジョン）を踏まえた計画策定

- ・ 想定ターゲットの設定：短距離、中距離、長距離の区分で、それぞれにコアターゲットを設定 等
- ・ 重点プロジェクトの設定：観光計画の象徴的な事業となり、他施策への高い波及効果が見込めるプロジェクトを設定 等
- ・ アクションプランの作成：実施主体、実施時期、取組詳細、財源、優先順位等を設定し、実効性担保等
- ・ 体制づくりの検討：本業務で掘り起こす地域内外のプレイヤーと協働で持続可能な体制づくりを推進等

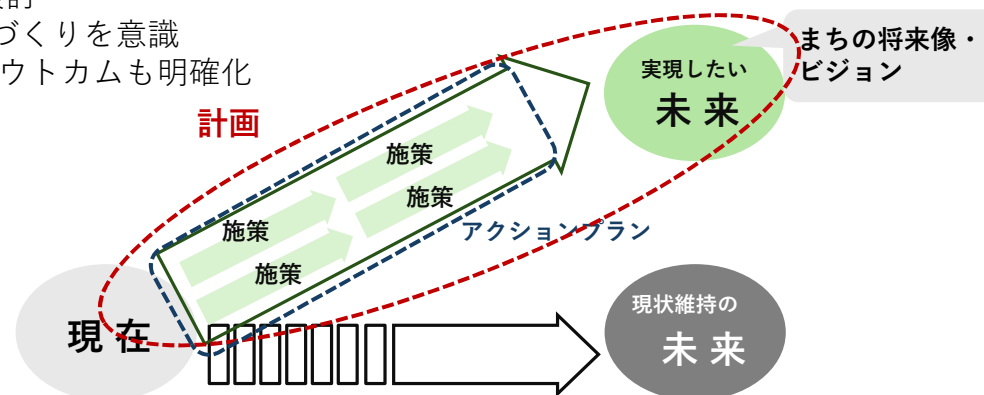
2 持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)の認証を視野に入れて策定

インバウンド観光客からの選択可能性の向上・世界標準やSDGsに即した持続可能な観光地へ。
オーバーツーリズム対応に限らず、自然・文化財保護等の課題対応も可能に。



3 実効性を高めるための進捗管理・体制づくりを支援

- ・ 事業化に向け、町のDMO/DMCも見据えた運営組織についても検討
- ・ 住民との協創、住民の主体性を尊重した持続可能性のある体制づくりを意識
- ・ KPI設定にあたっては、ロジックモデルの構築により、事業のアウトカムも明確化



策定の方向性を取り巻く背景

「まちの将来像」の実現に向けたコンセプトごとに検討すべきテーマを整理し、本委員会や住民ワークショップなどを通じた検討を進める

活性化

(創造する・挑戦する)

- 自然資源の活用（アドベンチャーツーリズム）
- 観光資源の開発（新たなスポット、農作物などを活用した特産品開発・活用支援）
- 企業・起業誘致
- 関係人口の参加事業
- 情報発信
- インバウンド誘客・環境整備

持続化

(続ける・守る・再生する)

- サステナブルツーリズム
- オーバーツーリズムの防止（ゴミ対策・観光駐車場などを含む）
- 担い手・後継者確保、雇用創出
- 需要の平準化
- 空き家・老朽化対策（内水面施設や森林の維持管理を含む）
- 獣害対策

効率化

(無駄をはぶく・まとめる・やめる)

- キャッシュレス
- 予約デジタル化
- 観光情報の集約
- 多言語対応
- エビデンス・データベースマーケティング
- 渋滞・混雑緩和

観光産業という対外的な活動である一方で、まちづくり観点からも、「住民等との協創」による策定を目指す

マーケット視点・
外部環境
(トレンド・ニーズ)



奥多摩町民・
町内視点、
内部環境
(資源・課題)

机上調査
有識者ヒアリング

アンケート調査
ヒアリング調査
ワークショップ
パブリックコメント

検討すべきキーワード・テーマなどがあれば
コメントいただきたい

奥多摩町の基本情報と観光資源

奥多摩町は、東京都の西北端に位置し、東は青梅市、西は山梨県、北は埼玉県に接し、全域が秩父多摩甲斐国立公園に含まれる豊かな自然に恵まれた地域である。町の面積は225.53km²で東京都全体の約10分の1を占めるが、そのうち94%は山林であり、多摩川本流と日原川の渓谷、雲取山などの急峻な山々が連なっている。都心から約2時間という近さにありながら、縄文時代からの歴史や独自の郷土芸能などの伝統文化を色濃く残しており、高い観光ポテンシャルを有する地域である。

人口の動向

- 町の総人口は、昭和30年合併当時の15,594人をピークに減少を続けている。特に近年は減少幅が大きく、2020年時点で総人口は4,750人となっている。
- 第6期長期総合計画にて、2035年に3,983人を維持することを目標に設定。
- 人口構成比は、2020年時点で生産年齢人口が約42.1%、老年人口が約50.7%となっている。
- 少子高齢化と若者の都心部への流出が大きな課題となっており、定住環境の整備や移住・定住対策の推進が急務である。

地域経済における観光産業の位置づけ

- 昭和30年に「観光立町」を標榜し、観光産業の振興を通じて地域の活性化を図っている。
- 基幹産業であった林業などの第1次産業が衰退し、第3次産業が就業人口の多くを占める中、農林水産業等の地域資源と観光を連携させた6次産業化が推進されている。
- 宿泊施設は町営や民間のほか、近年はJR青梅線沿線の空き家等を活用した「沿線まるごとホテル」などの新たな取り組みも進んでいる。
- 森林浴の癒し効果を活用した「森林セラピー事業」など、地域の付加価値を高める産業創造を目指している。

観光客の動向

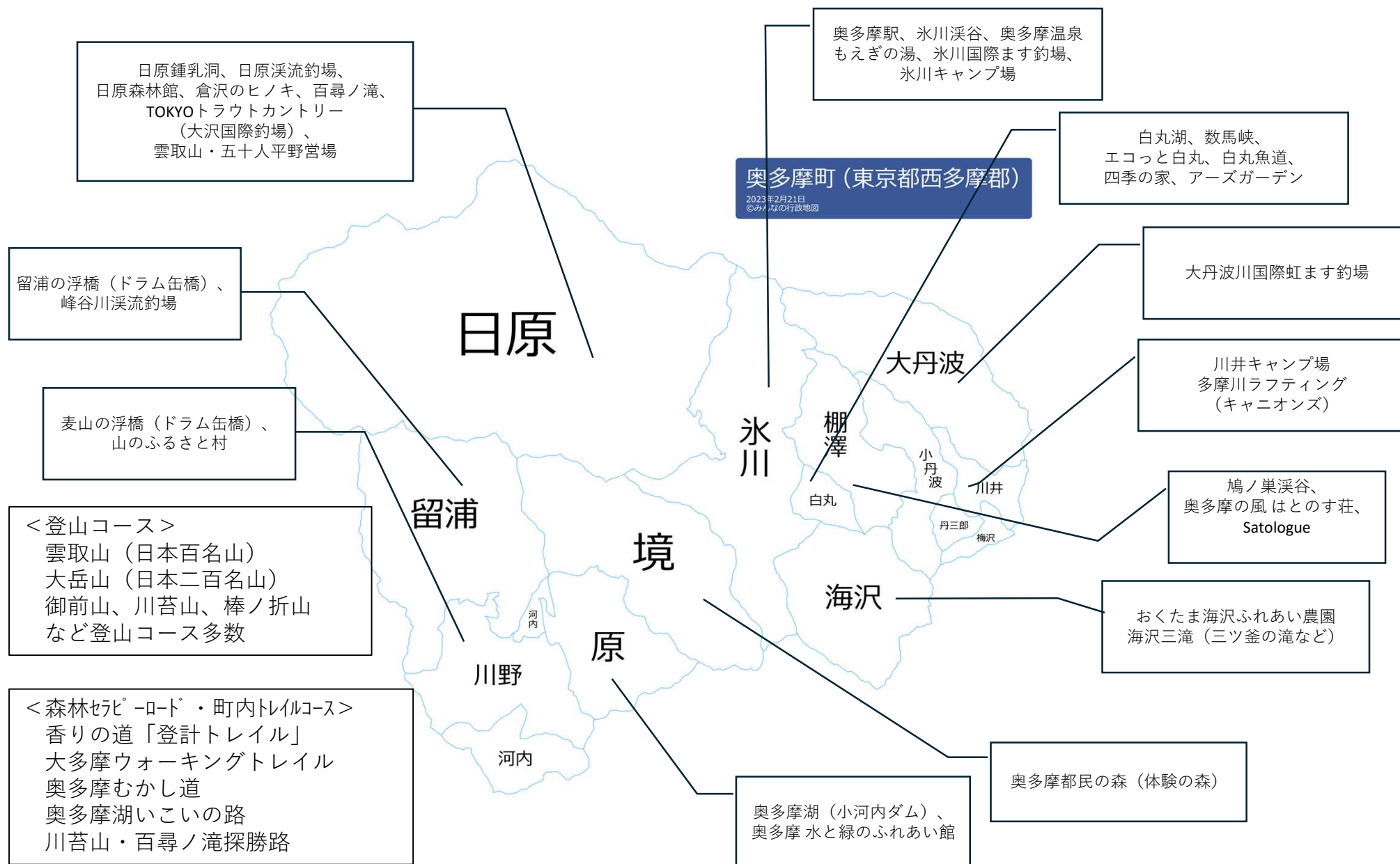
- 奥多摩町の観光入込客数実人数（2024年）は約88万人（推計約160万人）で、月別では5月が最も多く、次いで9月、11月が多くなっている。一方で、冬季（12～2月）は落ち込む傾向がある。
- 全体の約87.4%が日帰り客であり、宿泊客の割合が低いため、地域内での消費額拡大（滞在型観光）が課題。
- 奥多摩町を含む西多摩エリアへの観光の交通手段は自家用車での来訪が約6割を占め、ハイシーズンには激しい交通渋滞が発生。
- インバウンドは年間約5,800人と推計されており、韓国、台湾、米国からの来訪が多い特徴。
- 観光客が奥多摩町に来る前に立ち寄る自治体は青梅市が一番多く、奥多摩町に来た後に訪問予定の自治体も青梅市が一番多い傾向にある。

奥多摩町の基本情報と観光資源

奥多摩町の既存観光資源の整理

カテゴリ	主な観光資源	独自性と強み (Strengths)	弱みと改善点 (Weaknesses)
自然・景観	奥多摩湖 日原鍾乳洞 鳩ノ巣渓谷 海沢三滝 巨樹（倉沢のヒノキ等）	関東随一の規模を誇る鍾乳洞や、四季折々の渓谷美。写真映えする絶景スポットが豊富。	特定のシーズン（夏・秋）に訪問が集中しやすい。駐車場不足やアクセスの課題がある。
体験・アクティビティ	カヌー・ラフティング キャニオニング サイクリング トレッキング キャンプ場 各溪流釣場 森林セラピー	豊富な水資源と森林を活かした多様なアウトドア体験が可能。	冬季に稼働できるアクティビティが不足している。雨天時の屋内プログラムが少ない。
歴史・文化・施設	奥多摩 水と緑のふれあい館 日原森林館 白丸ダム魚道	水源林の歴史や自然環境を学べる教育的価値が高い施設が揃っている。	施設の老朽化や、観光客の消費（飲食・購買）を促す仕組みが不足している。
温泉・食	もえぎの湯等 わさび やまめ 治助イモ 手打ちそば	登山、ハイキング後の日帰りとしての需要が高い。	日帰り入浴・観光が中心であり、滞在・宿泊機能との連動が弱い。

奥多摩町の基本情報と観光資源

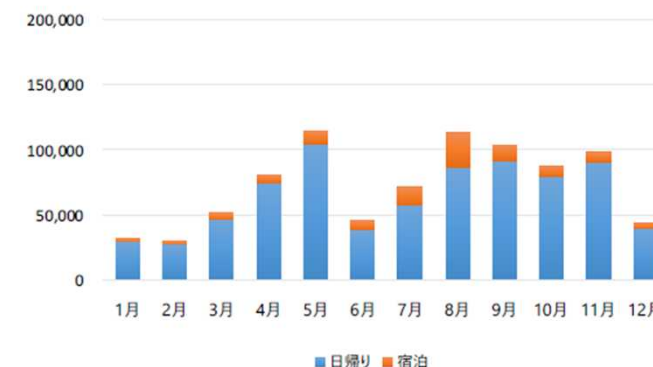


各種調査結果による現状把握・分析（西多摩地域入込観光客数調査報告書）

日帰り客が
圧倒的多数

2024年（令和6年）の奥多摩町の入込観光客数（実人数）は合計約88.0万人（推計約160万人）と推計されている。このうち、日帰り利用者が約76.9万人（全体の約87.4%）を占める一方、宿泊利用者は約10.5万人に留まる。**日帰り観光が主流であるため、地域内での滞在時間が短く、消費単価の向上が限定的**であることが最大の課題である。

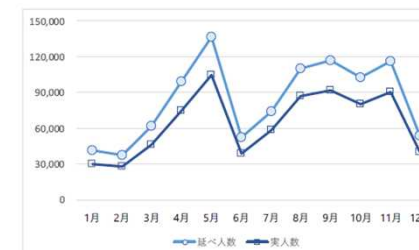
【図表・グラフ 4-8-2 実人数合計グラフ 単位：人回】



顕著な季節変動
（冬の閑散期）

2024年（令和6年）の月別データを見ると、日帰り客のピークは5月の約10.5万人で、次いで9月、11月が多い。宿泊客のピークは8月の約2.6万人である。一方で、**12月から2月にかけては明確な閑散期**となっており、通年で安定した収益を上げるための「冬季（12～2月）コンテンツの造成」が急務である。

【図表・グラフ 4-8-4 日帰り数 単位：人地点、人回】



【図表・グラフ 4-8-5 宿泊数 単位：人地点、人回】



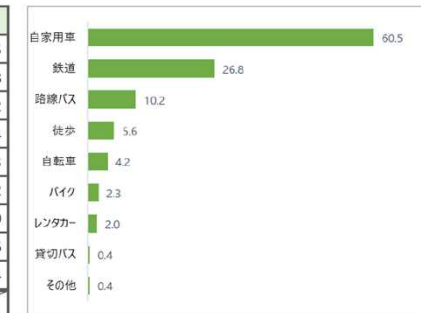
各種調査結果による現状把握・分析（西多摩地域入込観光客数調査報告書）

自動車依存による交通渋滞とインフラ課題

西多摩地域全体への来訪者の利用交通手段は、「自家用車」が圧倒的多数を占める。これによりハイシーズンには激しい交通渋滞や駐車場不足が発生し、住民の生活にも支障をきたしている。JR青梅線（東京アドベンチャーライン）など二次交通の利用促進と、マイカーなしでも回遊できる仕組みづくりが必要である。

どの交通手段で来訪したか

区分	回答数	割合(%)
自家用車	3,536	60.5
鉄道	1,567	26.8
路線バス	595	10.2
貸切バス	22	0.4
バイク	133	2.3
自転車	248	4.2
レンタカー	114	2.0
徒歩	330	5.6
その他	24	0.4
合計	6,569	

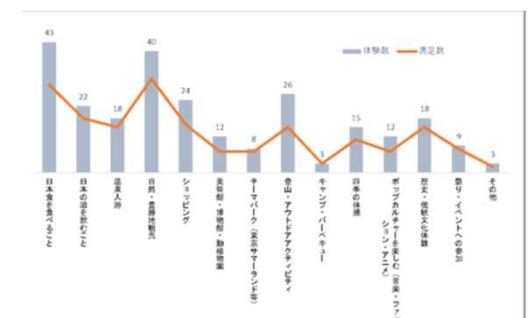


インバウンドの現状とニーズ

西多摩地域全体のインバウンド動向を見ると、国籍別では韓国、台湾、米国からの来訪が多い。

インバウンド客が地域で体験したこと・満足したことの上位には「自然・景勝地観光」だけでなく、「日本食を食べること」「日本の酒を飲むこと」「温泉入浴」といった食や日本文化の体験がランクインしており、自然と食文化を掛け合わせたパッケージ化が重要である。

区分	体験数	満足数
日本食を食べること	43	29
日本の酒を飲むこと	22	18
温泉入浴	18	15
自然・景勝地観光	40	31
ショッピング	24	16
美術館・博物館・動植物園	12	7
テーマパーク（東京サマーランド等）	8	7
登山・アウトドアアクティビティ	26	15
キャンプ・バーベキュー	3	3
四季の体感	15	11
ポップカルチャーを楽しむ（音楽・ファッション・アニメ）	12	7
歴史・伝統文化体験	18	15
祭り・イベントへの参加	9	8
その他	3	2
合計	253	184



各種調査結果による現状把握・分析（観光の取り組みに対する住民満足度調査）

沿線まると社様調査 （後述）

住民の観光に 対する満足度の 二極化

2026年（令和8年）3月時点の「観光地域づくり住民アンケート」によると、町の観光の取り組みに対して「満足」「やや満足」と答えた住民が約4割であるのに対し、「やや不満」「不満」が約6割を占め、不満層が上回っている。

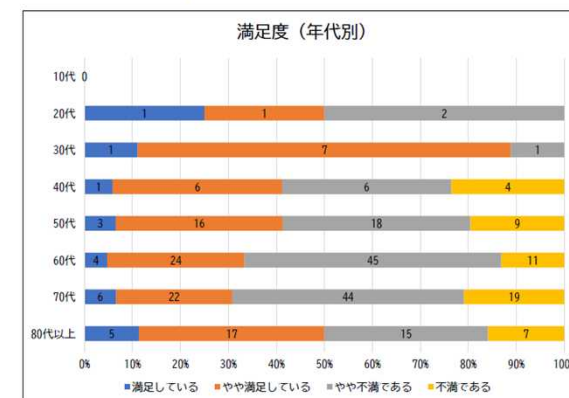
Q. 観光の取り組みに対する満足度について教えてください。



世代間の意識 ギャップと共通 ニーズ

満足度は30代の約9割が「満足」とする一方、60代・70代の約8割が「不満」と回答しており、年代が上がるにつれて満足度が下がる傾向にある。「今後の観光に必要なと思うこと」においても世代間で違いが見られ、WEB回答が多い現役世代は「交通・宿泊施設の整備」や「特色あるお土産・商品の開発」を強く求めている。一方、郵送回答が多い高齢層は「地域産業の推進（農林漁業等）」を最も重視している。

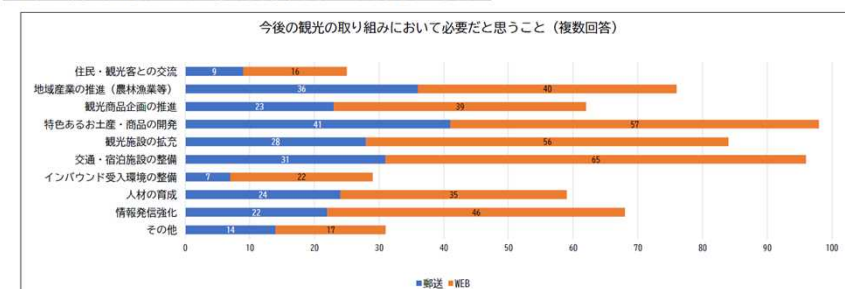
Q. 観光の取り組みに対する満足度について教えてください。



深刻なオーバー ツーリズム懸念

公共トイレの清掃などは評価されている一方で、「ゴミ問題やマナー違反」「駐車場や食事処の不足」「地元にお金が落ちない仕組み」への不満を住民は抱いている。住民からの声に応えるため、観光ゴミステーションの設置やマナー啓発、既存の「空き」資産を活かした食・憩いの場づくりなど、住民と共生する対策が必要である。

Q. 今後の観光の取り組みにおいて必要だと思うことについて教えてください。



活性化

人口減少・空き家問題と
創業支援

担い手不足や空き店舗の増加により、シャッター街の印象を与え活気が失われつつある。この課題に対し、空き店舗バンクの導入や、新規企業参入・創業支援、事業承継のマッチングを推進し、「やりたい人」を後押しして地域で起業できる環境を整備することが求められている。

効率化

新たなコンテンツ開発と
特化型ブランディング

ポテンシャルは高いがインパクトが弱く、他地域との差別化要素が伝わっていない。「わさび」「水」「渓谷」「クラフト」など、奥多摩ならではの強みに振り切った「特化型ブランディング」を打ち出し、SNS等を用いたデジタルPRを強化して視覚的に魅力を発信する必要がある。

冬の閑散期対策と
通年誘客の仕組みづくり

夏と秋のハイシーズンに依存し、冬期は「何も実施していない」事業者が多い。通年雇用の維持や収益安定化のため、氷瀑や星空のエコツアー、奥多摩産材を使った体験など、冬の魅力を組織連携によって「商品化（パッケージツアー等）」し、通年誘客を図ることが急務である。

インバウンド・
キャッシュレス等
受入環境の最適化

インバウンドの受け入れにおいてマナー問題への懸念がある一方、現場では「スマホの翻訳で完結できる」との声もあり、案内板の多言語化などインフラ改修に予算を集中すべきである。また、キャッシュレス未導入による機会損失を防ぐため、手数料等の「見える化」と丁寧な導入サポートが求められている。

持続化

サステナブルツーリズム
の面的な展開

環境保全や資源活用の理念には共感があるものの、具体的な取り組みが町全体に浸透していない。個別の努力から「町全体のムーブメント」へ引き上げるため、観光ゴミ・マナー対策（LNT連携等）や資源保全を強化し、長期的にはGSTCや「日本で最も美しい村」などの外部評価（認証）取得を目指す必要がある。

現状の課題整理（SWOT分析）

奥多摩町の内部的な強み、弱みと外部の環境（SWOT分析）を踏まえて、今後の観光振興において、次の視点が重要であると考ええる。

内部環境

強み（Strengths）

- ・ 秩父多摩甲斐国立公園（奥多摩湖、日原鍾乳洞など）の豊かな自然環境
- ・ 都心からJR青梅線等で約90分～120分というアクセスの良さ
- ・ キャンプやウォーターアクティビティ、登山等の多様なコンテンツ
- ・ 西多摩エリアへの観光客のリピーター率が高い
- ・ 奥多摩わさび、治助イモ、奥多摩やまめ、クラフトビール等の特産品

弱み（Weaknesses）

- ・ 人口減少・高齢化と地域の担い手不足
- ・ 日帰り観光が主流（87.4%）で、宿泊による経済波及効果が限定的
- ・ 冬季（12～2月）の顕著な閑散期と、冬季コンテンツ・情報発信の不足
- ・ 空き家の増加や公共施設の老朽化
- ・ 交通渋滞、オーバーツーリズムの発生
- ・ キャッシュレス決済やインバウンド受入体制が不足

外部環境

機会（Opportunity）

- ・ JR青梅線「グリーン車」導入による都心からの快適な移動
- ・ アウトドア・自然志向の高まりと、日本の自然・温泉に対するインバウンドの関心
- ・ 働く世代を中心とした地方移住、二拠点居住、テレワーク、ワーケーション等への関心
- ・ 外国人旅行者による国内消費の増加
- ・ SNSの普及による、世界への伝達ハードルの低下

脅威（Threat）

- ・ 二次交通インフラ（バス路線等）の衰退
- ・ 人口減少などによる国内観光旅行の市場規模の縮小
- ・ 自然災害の増加・甚大化
- ・ 野生動物（クマ、シカ、サルなど）による被害リスクと風評の拡大
- ・ 物価上昇による個人消費の落ち込み

今後の観光振興に向けた主な検討課題

滞在型観光への転換による
消費単価の向上

日帰り主流から脱却し「地域にお金が落ちる仕組み」を作るため、増え続ける空き家や空き店舗を宿泊施設や個性的な飲食店（シェアキッチン等）へとリノベーションし、滞在時間を延ばす施策を推進する。

通年誘客
（冬季コンテンツ）の確立

顕著な閑散期である冬を逆手に取り、氷瀑ツアー、星空観測、サウナ、温泉、木工クラフト体験などを組み合わせた高付加価値なパッケージツアーを造成し、通年での集客と収益化を図る。

ターゲットを絞った
インバウンド戦略

自然や温泉、食への関心が高く伸びしろの大きい台湾やアドベンチャー・サステナブルツーリズムでの集客を見込める欧米を中心にターゲットを絞り、効果的なPRと多言語対応を進める。同時に、キャッシュレス決済の導入を急ぎ、消費機会の損失を防ぐ。

設定・検討すべきインバウンドターゲットなどがあればコメントいただきたい

住民共生とオーバー
ツーリズム対策

住民満足度調査で顕在化した住民の不満を解消するため、観光ゴミステーションの設置、多言語でのマナー啓発、パークアンドライドによる渋滞緩和策など、観光公害対策を徹底し、住民理解を得るまちづくりを進める

第1次産業との連携
（6次産業化）

奥多摩のルーツである農林水産業（わさび田の保全、間伐材の活用、奥多摩やまめ、治助イモ、ジビエ等）と観光を密接に掛け合わせる。体験プログラムの商品化や特産品開発を通じて、住民が求める「地域独自の収益源」を確立する。

検討すべきキーワード・テーマなどあればコメントいただきたい

(ご参考) 日本における観光・旅行産業概要

日本人国内旅行消費額

- 2025年の日本人国内旅行消費額は26兆7,746億円(前年比6.4%増)となった。
- 日本人国内旅行消費額のうち、宿泊旅行消費額が21兆7,153億円(前年比6.8%増)、日帰り旅行消費額が5兆593億円(前年比4.9%増)となった。

【図表7】日本人国内旅行消費額の推移

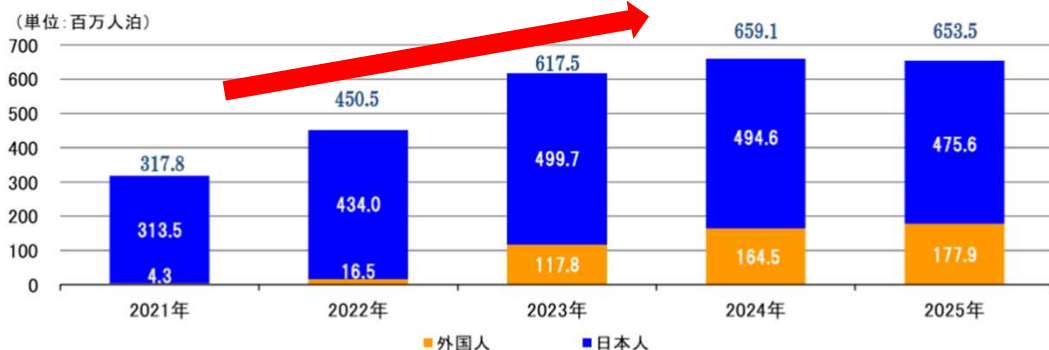


出典：観光庁 旅行・観光消費動向調査 (速報値)

● 国内の延べ宿泊者数の推移

観光産業市場の拡大を踏まえた「観光立町」への追い風トレンド

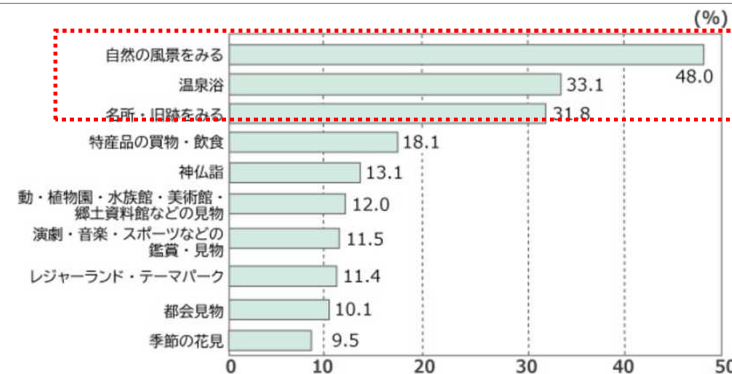
一年別・延べ宿泊者数推移(2021~2025)ー



※上表の青字にした数値は、日本人及び外国人の延べ宿泊者数を合計した全体の数値である。

出典：観光庁 宿泊旅行統計調査 2025(速報値)

● 宿泊観光旅行の旅先での行動



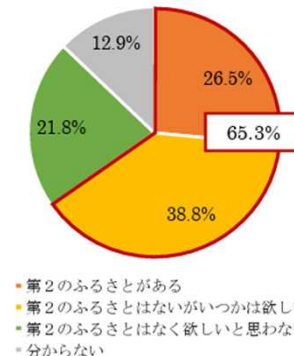
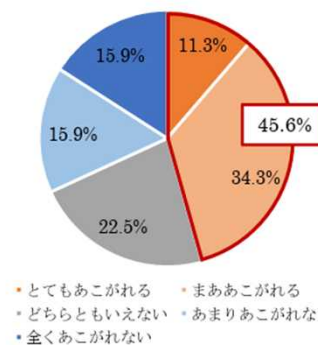
出典：日本観光振興協会「令和6(2024)年度版 観光の実態と志向」(2024.11)

奥多摩町の地域資源を活かした「観光産業」への訴求可能性

図表 I-58 地方への憧れ及び愛着を感じる地域に関する若者の意識

(1) 地方に暮らすことへの憧れ

(2) 出身地でなくとも愛着を感じる「第2のふるさと」の有無



資料：トラストバンク地域創生ラボ「東京圏の若者の地方に対する意識調査 2024」に基づき観光庁作成。
注1：本調査は、東京圏(埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県)に居住する15歳~29歳967人を調査対象とし、2024年9月にオンラインで実施。

● アドベンチャートラベルの定義

アクティビティ、自然、異文化体験のうち2つ以上で構成される旅行※ATTAが定義

● 市場動向と体験の質の変化

- 市場への成長：2023年のAT世界市場規模は約9,660億ドル（約144兆円）に達し、AT関連を旅行のメイン目的とする層も40%まで拡大しています。
- 体験の質の変化：かつての「身体的活動」中心から、「文化・自然・地域交流」を重視する志向へと変化しており、特に日本市場では他国に比べ文化や歴史、知的体験が人気となっています。

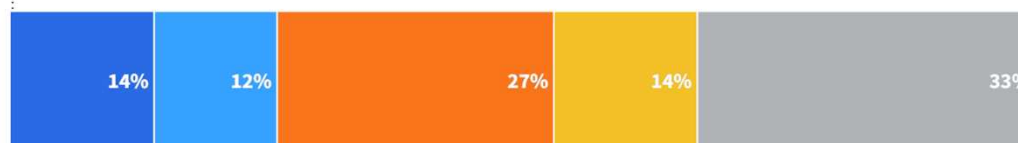
● アドベンチャート志向に応じて4タイプ

- アドベンチャー重視派（14%）**
スリルや挑戦を求める旅行者。登山やキャンプ、都市からの離脱など日常を離れた体験に関心が高く、持続可能性やコストにも一定の配慮を見せる
- 自然愛好家（12%）**
静かで没入感のある自然体験を好む層。森林浴やエコツアーを通じ、文化や地域との調和を重視する。
- 文化体験派（27%）**
地元の料理・芸術・歴史に深く関わる体験を求める旅行者。価格と品質のバランスを重視し、デジタルを活用して自ら体験を選び取る姿勢が特徴。
- バランス型旅行者（14%）**
都市観光と自然体験、文化交流などをバランスよく組み合わせ、柔軟に旅を楽しむ層。

▶ アドベンチャー市場の主要セグメント

やまところ.jp

■ アドベンチャー重視派 ■ 自然愛好家 ■ 文化体験派 ■ バランス型旅行者 ■ アドベンチャーに関心がない層



出典：Adventure Travel Market Sizing and the New Adventure Traveler

Made with Flourish • Create a chart

なかでも最多を占めたのは「文化体験派」の27%。また、「アドベンチャー重視派」「自然愛好家」「バランス型旅行者」を合わせた40%は、アクティビティや自然との接点を求める中核的なアドベンチャートラベル層とされている。

出典：Adventure Travel Market Sizing and the New Adventure Traveler
(やまところ.jp データインバウンドより引用)

●平均滞在11日・1人あたり支出は約44万円、サステナブルな行動も浸透

アドベンチャーに関心の高い旅行者は、滞在日数・支出額の両面で高いポテンシャルを持つ。調査によれば、**彼らの平均旅行日数は11日間、1人あたりの旅行支出は約3000ドル（約44万2000円）に達する。1泊あたりの支出は約265ドル（約3万9000円）**となり、観光地や事業者にとっては高単価なセグメントとして注目される。

また、アドベンチャートラベルの拡大とともに、**旅行者のサステナビリティへの意識**も高まりを見せている。必ずしも最優先の選択肢ではないが、地元製品の購入、オフシーズンの訪問、廃棄物削減といった具体的行動が浸透しつつある。なかでも人気が高いのは、**小規模で地域に根ざした体験型アクティビティ。人とのふれあい、自然・文化とのつながりを重視するスタイルが主流となっている。**

● **アドベンチャートラベル（AT）の世界市場は拡大を続け、アジアが最大のアウトバウンド市場**（約4240億ドル：63兆円規模）と推計される市場構成では、文化体験派が28％で最大を占める。自然愛好家やバランス型も一定割合存在し、複数志向を組み合わせた旅行が主流である。一方、非アドベンチャー層も28％と一定規模存在する。

国別では、**日本は文化体験派が38％**と突出し、中国はバランス型、インドはアドベンチャー重視派や自然愛好家の割合が高く、地域内でも志向差が大きい。消費面では、インドは長期滞在傾向、中国・日本は1泊あたり支出が高い。

▶アドベンチャートラベル・アジア市場の構成内訳

🇯🇵 やまところ.jp

■ アドベンチャー重視派 ■ 自然愛好家 ■ 文化体験派 ■ バランス型旅行者 ■ 非アドベンチャー層

アジア市場全体



日本



中国



インド

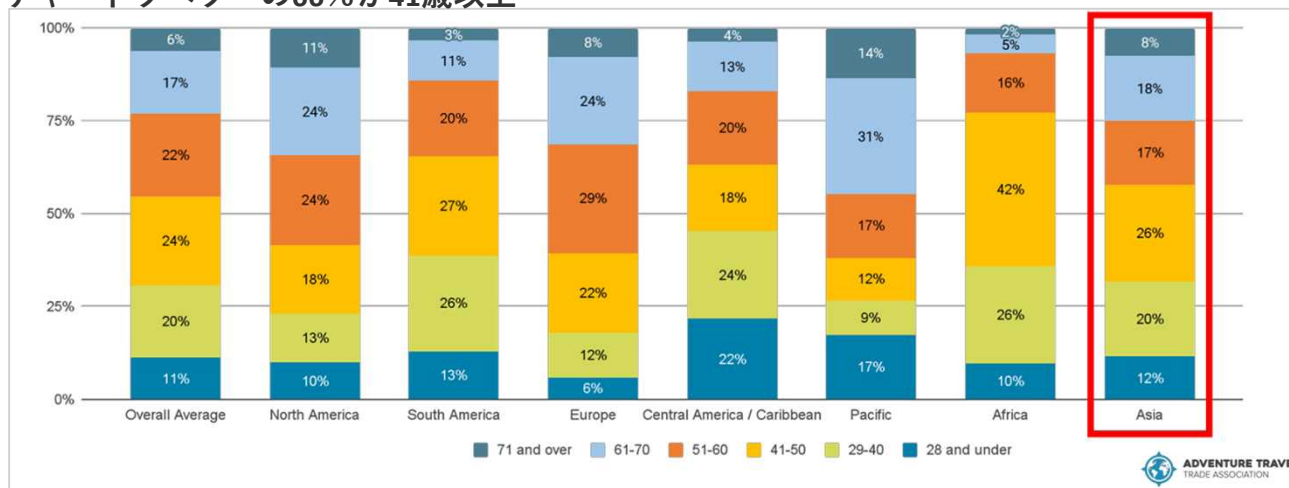


出典：ATTA Research Highlights Four Major Outbound Markets Driving Adventure Travel Growth
構成比は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

出典：ATTA Research Highlights Four Major Outbound Markets Driving Adventure Travel Growth
(やまところ.jp データインバウンドより引用)

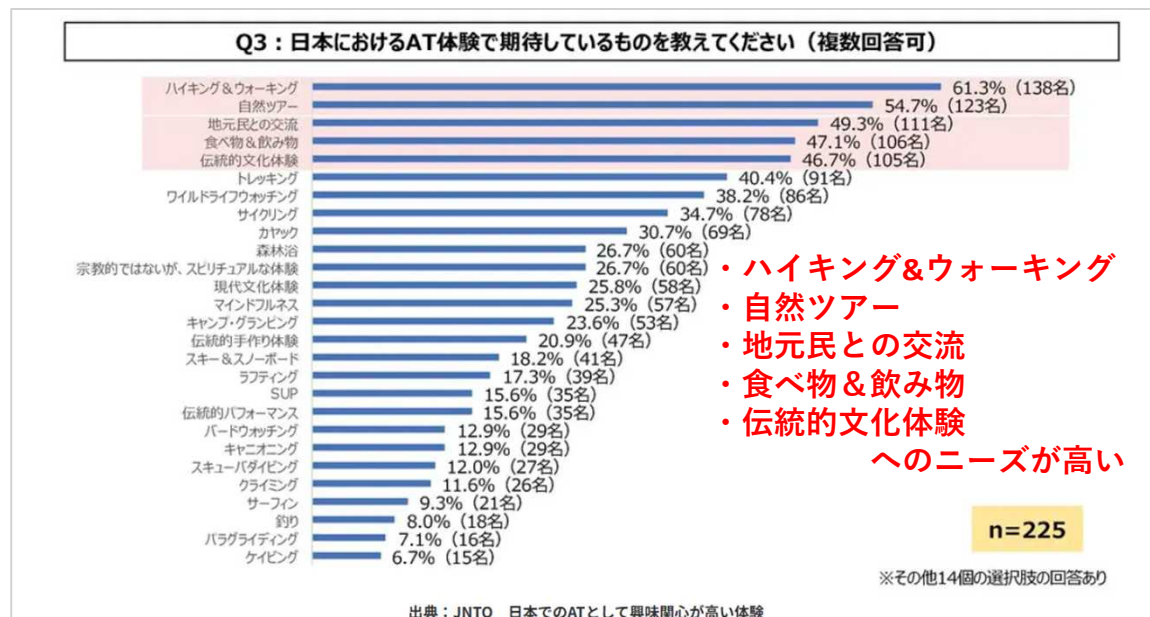
(ご参考) アドベンチャーツーリズムのトレンド (3/4)

● アドベンチャートラベル市場の年齢層 アジア着地のアドベンチャートラベラーの66%が41歳以上



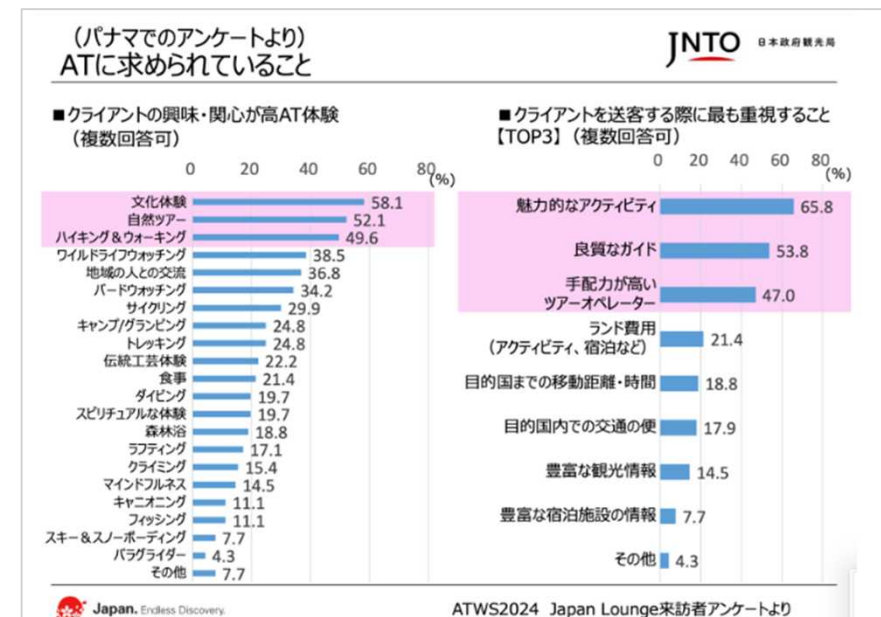
出典：2025 ADVENTURE TRAVEL TRENDS & INSIGHTS
(JNTOセミナーより引用)

● 日本のアドベンチャートラベルへの期待



(ATWS2023 Japan Lounge アンケートより)

● アドベンチャートラベル全体として求められていること



出典：JNTO (訪日ラボ インバウンドニュースより引用)

なぜ今、高付加価値旅行やアドベンチャートラベルが地方誘客において注目されているか？

地域への経済効果

- ・一人当たりの「消費単価」が高い
- ・納得したものについては、お金をかける客層である

サステナビリティ・ローインパクト

- ・地域文化、伝統工芸などの維持継続に貢献したい
- ・少人数での来訪
→地域にやさしい

受け入れ体制

- ・地域での労働力不足(宿、二次交通等)に適した受け入れ態勢で対応することができる

※但し、高付加価値旅行客、ATを受け入れるためのスキル、人材の確保、育成は必須

大量誘客型

人数(大) × 単価(少) = 消費総額

高付加価値・AT型

人数(少) × 単価(大) = 消費総額

| 観光産業振興計画策定前

奥多摩町 観光産業振興計画 最終調査報告

● 作成者

奥多摩町 観光産業振興アドバイザー

小林 雅樹

報告年月

2026.03

中間報告のおさらいと基本コンセプト

奥多摩町観光産業振興計画



二極化の融合

Concept

「変わることなく継続して進めていくもの」と「時代の変化に合わせ新しい取り組みを実施していくもの」。どちらかに偏ることなく、双方に共感できる計画策定が必要。

6期長計コンセプト



【活性化】

Activation

- ・ 起業できる環境の整備
- ・ 創業支援の推進
- ・ 拠点としての空家活用



【効率化】

Efficiency

- ・ インバウンドを想定した観光資源の開発
- ・ 新たな特産品の開発支援



【持続化】

Sustainability

- ・ 観光ゴミの対策
- ・ 木質資源の活用
- ・ 獣害対策

！ 必要不可欠な横断的課題

サステナブルな取り組み

町のインフラ対策



🔍 本報告書での深掘り・分析テーマ

課題分析

サステナブル

インバウンド

キャッシュレス

冬の閑散期

課題の深掘り① 人口減少・空き家問題

奥多摩の課題分析



Current Situation

現状・課題



人口減少・担い手不足

高齢化が進み、事業の担い手が不足。若い世代がもっと増えないと町の発展につながらない。



空き家・店舗の増加

「シャッター街」の印象を与え、町の活気が失われているように見える。駅前に立ち寄れる店が少ない。

負の連鎖（悪循環）

働く場所がない → 町外へ流出 → 人口減少



Direction

方向性【活性化】



空き店舗バンクの導入

空き家バンクの店舗版。週末起業や二拠点生活での飲食店開業など、多様なニーズに対応する仕組み。



創業・企業参入支援

移住補助だけでなく、新規企業参入補助や創業支援を強化。「やりたい人」は多い潜在需要を取り込む。



事業承継・マッチング

後継者支援枠やマッチングサイトを活用し、既存店舗の閉鎖を軽減。引継ぎも視野に入れた町ぐるみの取り組み。



既存事業者・新規参入者ともに「新しい企業の参入」には賛成が多く、共通認識となっている。

課題の深掘り② 新たな観光コンテンツ開発

効率化に向けた観光施策



Current Situation

現状・課題



PR・発信力不足

ポテンシャルはあるが、インパクトが弱く生かしきれていない。町外への発信が不十分。



差別化・目玉の欠如

山や自然は他地域にもあり、奥多摩ならではの魅力（差別化要素）が伝わっていない。



通年誘客の課題

夏と秋は何もせずとも来訪があるが、冬の閑散期対策や通年で来てもらうコンテンツが不足。



Direction

方向性【効率化】



特化型ブランディング

「わさび」「水」「渓谷」「クラフト」など、奥多摩ならではの魅力に振り切った特化型施策。



パッケージツアー造成

HIS等と連携し、ターゲットを定めたツアーを造成。通年誘客の仕組みを作る。



デジタルPR強化

SNSや動画コンテンツを活用し、視覚的に魅力を発信。インバウンドや若年層へアプローチ。



多くの事業者から「PR活動不足」との指摘。コンテンツはあるため、いかに「見せるか」が鍵。

サステナブルツーリズムの取り組み

現状と論点

現状の認識



という回答が多数

「取り組んでいることはない」
6期長計で掲げるも浸透せず。

💡 しかし、潜在的には...

理念自体にはどの事業者も共感している。
きっかけと方向性が必要。

既存の取り組み事例

🌿 環境・資源

レジ袋削減・プラスチック製廃止
ゴミ抑制（テイクアウト見直し）
間伐材を活用した割り箸等の利用
景観保持や老朽化対策のための間伐

🍴 食・文化・体験

地産地消の推進
ベジタブル対応（大豆ミート等）
わさび体験（伝統の継承）
郷土芸能の保全活動

🌱 新たな試み

🔥 商品開発
木を生かす「ピカ薪」

👤 体験提供
奥多摩伝統の継続



最大の論点

個別の努力から「町全体のムーブメント」へ

町としての方向性（ビジョン）を明確にし、事業者への周知と伴走支援を行う必要がある。

サステナブル 実施例と今後の方向性

重点課題とネクストアクション

Check 取り組むべき重点課題



ゴミ・マナー対策の強化

観光マナー啓発、LNT (Leave No Trace) との連携強化。町・事業者・町民を巻き込んだ「きれいな町」づくり。



外部評価（エビデンス）の取得

「日本で最も美しい村」連合加盟や、GSTC認証の取得など、外部機関による客観的な評価指標を目指す。



教育プログラムへの導入

小中学生を対象としたサステナブル教育。若いうちから地域資源への意識を醸成する。



資源活用・保全（間伐材・わさび）

間伐体験や奥多摩産材の活用。わさび田保全とブランド化による付加価値向上。



季節分散（イベントの復活）

「桜まつり」等の花のイベント復活など、季節ごとの誘客コンテンツを整備し、通年化を図る。



Next Steps

次アクション

STEP 1

町内方針の策定と啓発

「何を指すか」を明確化。
KPIを設定し、事業者へ周知。

STEP 2

体験のコンテンツ化

間伐やわさび等の体験を商品化。
「奥多摩でしかできない」価値へ。

STEP 3

広域PR・認証取得

対外的な評価を得て、
ブランド力を向上させる。

インバウンド受け入れの方針と施策

効率化に向けた現状分析と対策



Current Situation

現状・課題



売上への貢献度

ピーク時は売上の7～8割が外国籍という店舗もあり、経済効果は大きい。基本的には「お客様」として歓迎。



マナー問題の懸念

騒音や食べ残しなど、日本人観光客とは異なるマナー問題が顕在化。一部事業者は受け入れに消極的。



現場の対応力

英語は話せなくても、翻訳アプリ等で「なんとかなる」という認識が強い。高度な語学教育よりツール活用が現実的。



Strategy & Actions

方針・施策



ターゲットと方向性の明確化

「全般強化」か「ターゲット選定（長期滞在等）」か。町としてのスタンスを整理する必要がある。



受入環境のハード整備

劣化している看板や道標の計画的な多言語化改修。メニュー表記の簡素化（スマホ翻訳前提のデザイン）。



誘客施策（HIS連携）

HISと連携し、インバウンド誘致に向けたパッケージツアー造成を実施。ターゲットに合わせた商品開発。



多言語スキル向上研修は不要。「スマホで完結できる」ため。環境整備と、看板等のインフラ改修に予算を集中させる。

キャッシュレス対応の現状と対応策

観光DX・受入環境の効率化



Current Situation

現状・課題



現金のみが多数派

手数料への懸念が強いが、実際は「高い」と思い込んでいるケースも多い（何%か不明なまま懸念）。



機会損失と方針の乖離

現金のみだと一部顧客を取り逃がす。町の「デジタル化・DX推奨」方針とも乖離が生じている。



正確な情報不足が導入の障壁



Direction

方向性【効率化】



手数料等の「見える化」・研修

手数料率の正確な情報提供や、導入メリット（客単価向上など）を伝える集合研修を実施。



自治体施策との連動

プレミアム付商品券や給付事業とPayPay等を連携させ、導入の動機付けを行う。



意思確認とサポート

導入は任意だが、再度ヒアリングを行い、希望者には手厚い導入支援を行う。

導入効果の事例

「時代に合わせて導入し、客単価が上がった」という先行事業者の声もあり。

冬の閑散期対策

通年化に向けて

現状の認識



「何も実施していない」
事業者が多い。
(SNS発信のみ実施など)

課題

夏秋の繁忙期頼みからの脱却
通年雇用の維持にも影響。

対策アイデアと施策

体験・ワークショップ

奥多摩産材を使った制作体験
冬のエコツアー（氷瀑・星空）
バードウォッチング

イベント・プロモーション

イルミネーションの実施
マルシェへの積極出店
冬期宿泊キャンペーンの活用

独自コンテンツ・発信

ツアー造成
奥多摩発着パッケージ

SNS戦略
冬の魅力動画発信

今後の進め方



組織連携による「冬の商材」開発と商品化

町・観光協会・地域振興財団が連携し、通年来訪につながるメニューを設計する。



第5期長期総合計画の振り返り

観光・産業づくり（第1節）

全体テーマ

第5期

みんなの力が
つながる

観光・産業づくり

豊かな森林環境の活用や田舎暮らし体験を提供し、住民と行政が一体となったイベント等を推進。

Q 総括

個々の事業（セラピー、トイレ整備等）で成果は見られたが、**点での活動**にとどまりがちであった。

🌿 グリーンツーリズム・セラピー

森林セラピーやクラインガルテン等の取り組みで田舎暮らし体験を提供。

→ 認知拡大のためのPR強化が必要。
自然保全と両立した集客へ。

🏞️ アウトドア活動

ウォーターアクティビティ等の利用増。来訪の大きなきっかけに。

→ 安全性の確保と環境保全の両輪で支援。
快適な体験の担保が急務。

🚻 受入環境の整備

観光用トイレの整備が進み「きれいなまち」としての周知が進む。

→ トイレから河川・遊歩道へ範囲を拡大。
町全体で美化意識の統一へ。

🏠 観光商品企画

住民・行政一体のイベント開催（花火、セラピーウォーク等）。

→ 「冬の魅力」掘り起こしが課題。
季節に偏らない通年コンテンツ開発を。

次期計画への接続

これまでの「点の整備」から、「面での展開（通年化・全域化）」へシフトし、持続可能な観光地を目指す。



実施計画シート振り返り（観光商工係）

第5期計画の成果検証と課題抽出

三 取り組み状況の評価



観光施設・トイレの整備

実施済・継続

OPT（観光用トイレ委託）により「きれいなトイレ」を実現。施設の維持管理は今後も必須事項として継続。



イベント・宿泊連携・広域PR

実施済・継続

ふれあいまつり等の継続、冬期宿泊補助の活用。広域連携によるPR活動は一定の成果あり。



冬季誘客・インバウンド推進

未実施・要強化

PR予算の確保が必要。案内看板の改修や受入環境の整備も含め、抜本的な対策が急務。



空き店舗活用・起業促進

未実施・要強化

テントショップやバンク活用が進まず。創業支援や新規参入促進とセットで活性化を図る必要あり。



二次交通（マイカーなし観光）

未実施・要強化

バス増便は困難なため、シェアサイクル導入など駅からの回遊性を高める代替案が必要。



Key Takeaways

今後の指針

POINT 1

ハード整備の継続

「きれいな町」の基盤となるトイレ・施設管理は、品質を維持しつつ継続する。

POINT 2

ソフト事業の再構築

未実施だった「冬季」や「インバウンド」は、予算措置を含めて計画を具体化する。

POINT 3

「稼ぐ力」の強化

単なる空き家対策ではなく、「創業・新規参入」の文脈で活性化施策を強化する。

実施計画シート振り返り（農林水産係・森林保全係）

継続事業と今後の強化ポイント

継続して実施する基盤事業



グリーンツーリズム・農地活用

農林水産

農地台帳の電子化管理、遊休農地の有効活用。町全体でのグリーンツーリズム推奨を引き続き実施。



わさび振興・ブランド化

重要

わさび田の造成・モノレール整備、奥多摩わさび塾による後継者育成。特産品の生産・ブランド化は最重要事項。



森林の健全化と保全活動

森林保全

スギ・ヒノキの間伐、枝打ち事業、松くい虫駆除、監視巡視員配置など、自然を守る取り組みを継続。



セラピー事業と担い手育成

森林保全

森林セラピー事業の普及拡大と、若者が従事しやすい環境づくり。関係人口の創出につなげる。



獣害対策とジビエ活用

農林水産

有害鳥獣捕獲の強化と、鹿肉等の安定供給体制の確立。観光資源としての活用も視野に継続。



Focus Areas

要強化・新規検討領域

農林：要強化

食と販路の拡大（六次化）

単なる生産だけでなく、出荷・販売の仕組み整備、加工品開発など、食に繋がる「稼ぐ」取り組みへ発展させる。直売グループへの支援も強化。

森林：新規検討

参加型保全の推進

森林ボランティアとの連携強化。木材搬出機器の貸し出しなど、ボランティア活動を活性化し、関係人口を増やす。

共通：再考

資源活用の再検討

バイオマス活用など、過去に実施不可となった案件も含め、時代の変化に合わせて木質資源等の利活用システムを再検討する。

今後の重点施策

活性化・効率化・持続化の3本柱と基盤強化

奥多摩町の観光産業発展に向け、5つのカテゴリーで具体的施策を展開。
特に「活性化・効率化・持続化」の3つの軸を相互に連携させながら推進する。



【活性化】 Activation

空き店舗バンク試験・出店
週末起業や二拠点活動を促進

創業支援・企業誘致
新規参入を歓迎する機運醸成

事業承継マッチング
店舗閉鎖を防ぐ取り組み



【効率化】 Efficiency

特化型ブランドの確立
わさび・水・渓谷・クラフト

パッケージツアー造成
通年誘客・冬期コンテンツ開発

町外PR・キャッシュレス
SNS動画活用と利便性向上



【持続化】 Sustainability

ゴミ対策・マナー向上
LNT (Leave No Trace) 連携

外部認証の取得挑戦
GSTC、「最も美しい村」等

資源保全・活用
間伐材活用、わさび田保全



【インフラ・受入環境】

多言語サイン・遊歩道の更新: インバウンド対応と安全性確保
シェアサイクル・交通: 駅からの二次交通、回遊性向上



【人づくり・教育】

サステナブル教育の実践: 小中学校と連携したプログラム
次世代への意識醸成: 地域資源の価値を再認識

まとめ・次のステップ

ロードマップとKPI

1

基盤構築・合意形成

全体方針の策定とKPI設定
関係者（事業者・協会）との合意形成
優先施策の選定と予算調整
現状の課題の再確認と共有

2

施策実行・トライアル

多言語サイン・案内板の設計着手
冬期限定メニュー・イベントの試行
HIS連携インバウンドツアー造成
キャッシュレス導入支援・研修実施
空き店舗バンクの運用開始

3

定着・ブランド化

GSTC等の国際認証取得への挑戦
通年型パッケージツアーの拡充
小中学生向け教育プログラムの定着
「日本で最も美しい村」ブランド確立
広域連携による大規模PR

🎯 目指すべきKPI指標（例）



冬季来訪者数
対前年比 +10%



キャッシュレス導入率
町内店舗 80%



インバウンド満足度
アンケート 4.5pt



空き店舗活用件数
年間 3件以上

奥多摩エリア 沿線DMOの取り組み

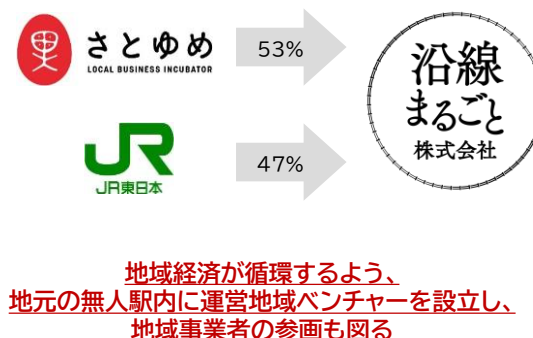


2026年4月

1. 沿線まるごと株式会社について

■会社概要

- ・設立:2021年12月3日
- ・資本金:7,500万円
- ・事務所:東京都奥多摩町JR鳩ノ巣駅内
- ・事業内容:古民家宿泊事業(空き家改修・宿泊事業運営)
地域観光事業(地域ガイド・地域体験運営)
小売り・eコマース事業(地産品販売)
その他サービス事業(伴走型地域課題解決コンサルティング)



■青梅線沿線を舞台にした地方創生事業「沿線まるごとホテルプロジェクト」

過疎高齢沿線地域の課題を資源に変換し、沿線をまるごと一つのホテルに見立てて、地域全体でおもてなすことで、イベントで1万人が一回だけ来て終わりではなく、**同じ1万人でも100人が100回くる集落**を目指す。



無人駅

ホテルのフロント



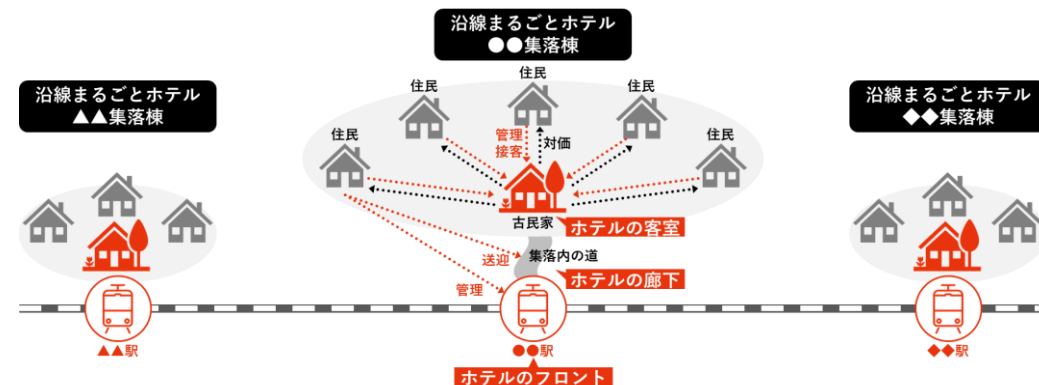
空き家

ホテルの客室



地域住民

ホテルのキャスト



「駅と集落」のユニットを増やしていくことで、「沿線まるごとホテル」の世界観が醸成。
⇒「集落や駅を選んで泊まる」「無人駅に泊まりに行く」体験価値を提供。

1. 沿線まるごと株式会社について

■これまでの活動実績

コロナ禍においても、ツーリズム造成・実証、地域と連携した地域課題の解決、コンテンツ開発を実施

「無人駅から始まる源流への旅」



実施期間：2021年2月～4月
90組完売、稼働率100%
客単価3万円達成・満足度100%
事業化希望率100%

「小さな風景を感じるモビリティツーリズム」



実施期間：2022年10月～12月
電動バイク、電動自転車によるツアー造成、
ツアー稼働率76%、満足度100%
21のメディアに露出

「沿線まるごとラボ」開所



開所：2022年6月1日
無人駅が有人駅へ
鳩ノ巣駅に地域事業者・住民・自治体
が集い、イノベーション創出拠点に。
ホテルのフロントが開業。

「青梅線 多摩の地酒列車」



実施期間：2022年10月,11月,2023年1月 3回運行
地域への経済効果1,000万円
お客さま満足度100%
コロナで苦しんだ地元 3酒造との連携強化

「走れ!みんなの青梅線」



実施：2022年3月
青梅線の暮らし発信
沿線保育園と青梅駅等に
子供達から見たアドベンチャー
ライン絵画を展示、乗車体験。

上記のように、無人駅や空き家などの地域課題を新たな顧客価値に転換した点や、地域全体で集客を図っていることなどが評価され、数々の賞を受賞



第7回 ジャパン・ツーリズム・アワード
最高賞「国土交通大臣賞」「学生が選ぶアワード賞」受賞



Forbes Xtreprenuer AWARD 2024
「地域活性化・モビリティ部門」受賞



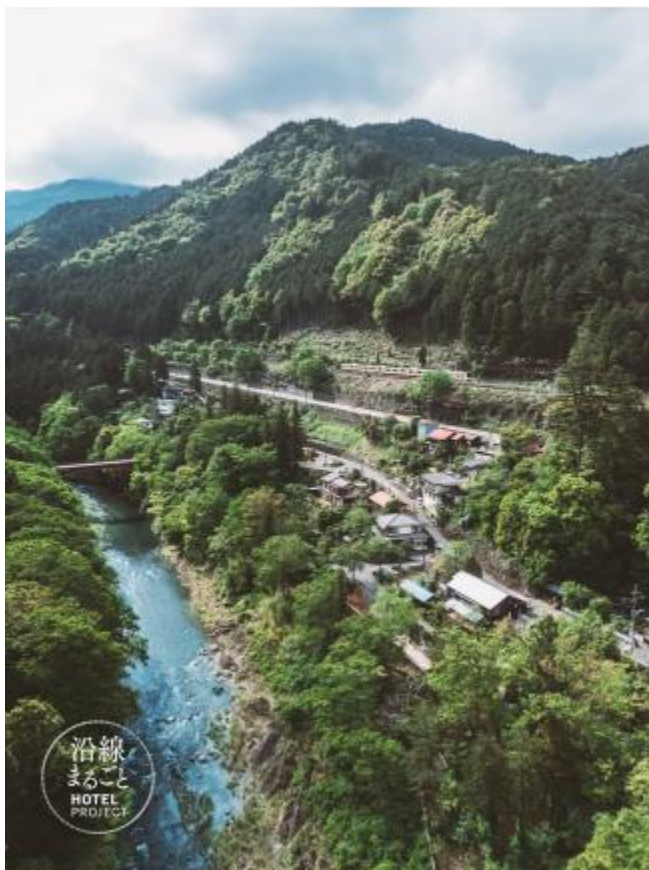
Newsweek SDGs Awards 2024
「最優秀賞」「地域課題部門賞」受賞



1. 沿線まるごと株式会社について

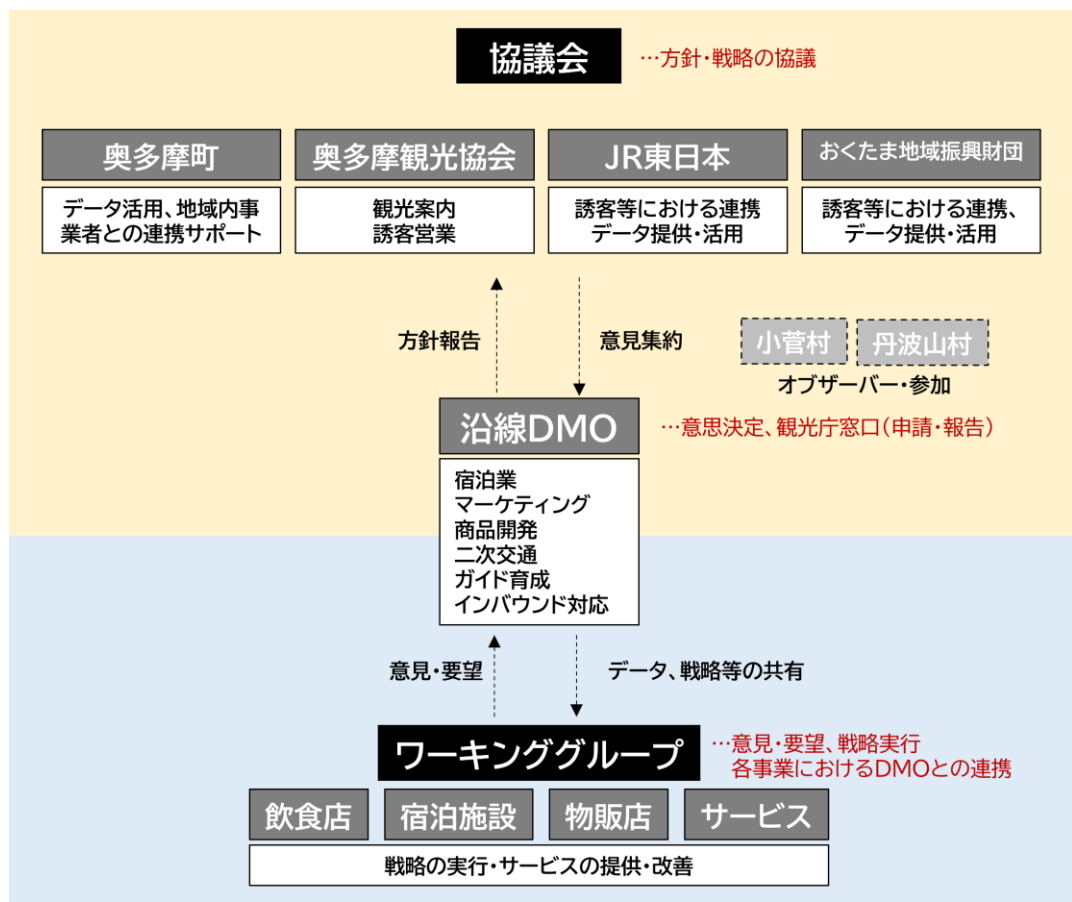
■古民家を改修した滞在施設「Satologue(さとログ)」の運営(レストラン・サウナ・宿泊)

新たな開発をするのではなく、地域にすでにあるものを“再編集”し、新たな体験価値を創出⇒里山の営みに加わる体験を提供。



2. 沿線DMOについて

■協議会の実施体制



- ・沿線DMOが**意思決定機関**、**観光庁の窓口**(補助金申請、事業報告)となる。
- ・行政、観光協会、沿線DMOで**協議会**を設置し、戦略等の方針を協議する場とする。
- ・民間事業者と沿線DMOで**ワーキンググループ**を設置し、方針や戦略、観光データの共有とPDCAの提案等を実施。事業者からの意見聴取の場とする。

■協議会の構成

協議会

- ・奥多摩町 ●
- ・奥多摩観光協会 ●
- ・JR東日本 ●
- ・沿線まるごと株式会社 ●●
- ・おくたま地域振興財団 ●
- 【オブザーバー】
- ・小菅村 ●
- ・青梅市 ●
- ・丹波山村 ●

***お願いしたいこと**

- ・年1～2回の協議会への参加
- ・DMOの取り組み方針に対するコメント
- ・DMOとして受けられる支援サービスの検討の協議

ワーキンググループ

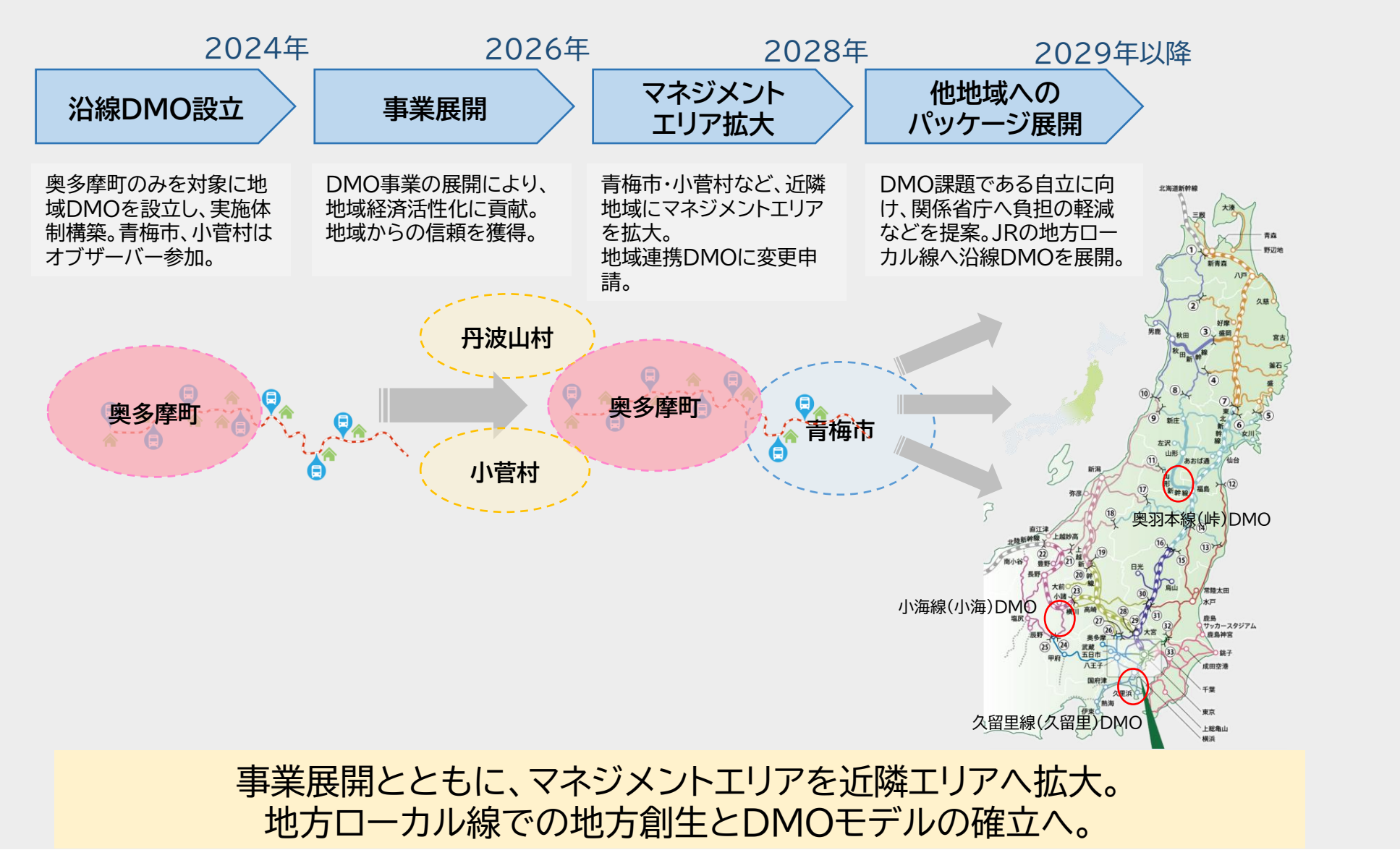
- ・雲仙屋 ●
- ・山鳩 ●
- ・わさびブラザーズ ●
- ・沿線まるごと株式会社 ●●

参画が必須の団体

- 地域が「売り」とする観光資源の関係者
- 宿泊事業者
- 交通事業者
- 行政

2. 沿線DMOについて

DMOの将来展開



2. 沿線DMOについて

■DMOとしての今後3か年の取り組み内容(優先事項は今後1～2年で実施)

実施済み

実施中

未着手

基本の取組内容	目標	具体的な施策	優先事項
地域内連携	地域内ステークホルダーとの連携	協議会の設立・運営	★
		データ収集の仕組みの確立・有効活用	★
プロモーション	インバウンド誘致	受入体制構築・ガイド育成	★
		インバウンド向け広報ツールの作成	★
		インバウンド向け新規ツアーの検証	★
		旅行代理店等とのネットワーク構築	★
		外国人インフルエンサーによるプロモーション実施	
		訪日外国人向けツアー販売代理店によるプロモーション、旅行商品販売	
	首都圏の高所得者層誘致	日本人インフルエンサー等によるプロモーション実施	
		JR東日本社の各種リソースを活用した広報	
	Webページ・パンフレット制作	Webページの制作	
		宿泊施設のパンフレット制作	
		地域内の体験コンテンツのパンフレット制作	
	インバウンド向けコンテンツの充実	多言語（日英中）対応（パンフレット、Webページ等）	
コンテンツ造成	高所得者向け宿泊事業・観光事業の立ち上げ・誘致	直営事業（宿泊事業）の立ち上げ	★
		駅等でのチェックインシステムの確立	
		他事業者の事業立ち上げ・運営支援	
	観光コンテンツの開発・磨き上げ	インバウンド向け高付加価値コンテンツ造成（酒蔵見学、ワサビ収穫体験等）	★
		エリア内既存サービスのインバウンド対応	
		近隣エリアとも連携した周遊ツアーの造成	★
	物販によるファン獲得	ふるさと納税の返礼品の充実	
		オリジナル商品の開発・販売	★
人材育成	観光人材育成	観光分野におけるJR社員や地域人材の育成（事業の検討、実行）	
	地域の事業創出促進	地域内事業者の事業化のサポート	
		専門人材のマッチング	
観光インフラ整備	二次交通の利便性向上	二次交通手段（EV車、e-bikeレンタル等）の整備	★
	「旅行しやすさ」の向上	予約・決済のオンライン化の検証	★
	地域を1つのテーマパークに見立てたシステム開発	宿泊、体験コンテンツを一括予約できるシステムの開発・導入	
		移動・宿泊・支払い等全てがスマートフォン1台で完結するシステム開発	

2. 沿線DMOについて

■これまでの活動実績



インバウンド向け モニターツアーの実施

- ・前回実施した台湾人観光客向けのツアーを参考に、ターゲットを欧州の観光客に変更し、Satologueでのフィールド散策や沿線ガストロノミーによる里山での体験を提供。
- ・在日外国人のインフルエンサーによるSNS発信や外国人向けWEBメディアによる発信。



モビリティ事業の展開

- ・無人駅から地域をつなぐ二次交通の拡大に向けたレンタサイクル設置個所を増設。
- ・レストランやサウナの予約と連携したモビリティプランの提供を検討。
- ・閑散期の観光利用促進に向け、地域事業者と連携したツアープランを醸成。



情報発信

- ・自社HPやSNS(Facebook、X、Instagram)を活用し、奥多摩の魅力を発信。
- ・国内外のインフルエンサーや観光に関するアカウントと連携したPRの実施。
- ・JRの広告媒体(デジタルサイネージ)の活用やパンフレットの配布。



観光データ収集

- ・奥多摩地域のさらなる観光利用促進を目指し、観光客の動向(年齢層、性別、訪問目的、交通手段、利用額等)における調査を実施。
- ・分析を活かした新たな観光コンテンツの提案、既存コンテンツの磨き上げ。



宿泊施設の改修工事

- ・レストラン棟・サウナ棟に引き続き、ツインルーム4部屋の宿泊棟を整備。
- ・2棟目にファミリー層や団体客の利用を想定した1棟貸の宿泊棟建設を検討。
- ・青梅線沿線に点在する空き家の現地調査を行い、他駅周辺における同施設の展開を検討。



2. 沿線DMOについて

■アンケート調査の実施

奥多摩町の持続可能な観光地づくりに向けて、観光客、地域住民それぞれを対象とした「観光に対するアンケート調査」を実施。
(以下、各調査結果より一部抜粋)

住民満足度調査

【概要】

回答時期:2026年2月25日(水)～3月22日(日)まで

回答方法:WEBまたは郵送による回答

対 象 者 :奥多摩町在住の18歳以上の町民、一世帯あたり1回答

回 答 数 :337件(WEB…189件、郵送…148件)

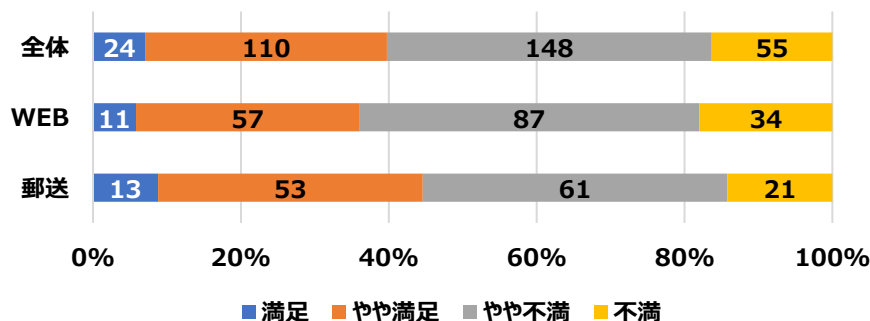
回 答 率 :17.9%(WEB…10%、郵送…7.9%)

※奥多摩町の世帯数:1,879件

Q.奥多摩地域の観光に対する満足度を教えてください。

(n=337)

(回答方法別)



【特徴・分析】

■「奥多摩らしさ」が分かるモノ・コトに必要性を感じている傾向にある。

・前項の満足度に対する評価を踏まえると、住民は“観光振興”よりも“生活環境の改善”を強く求める傾向にあり、特に郵送回答では観光公害や施設不足が顕著であった。

一方、WEB回答では情報発信や商品開発など観光振興への期待が高く、両者の視点を統合した施策設計が必要である。

来訪者満足度調査

【概要】

回答時期:2025年8月～

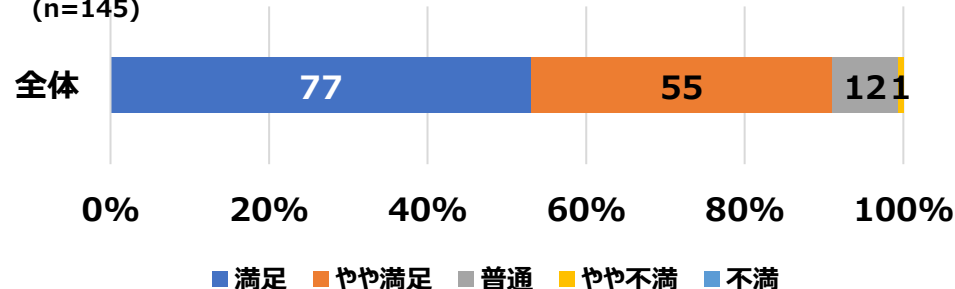
回答方法:WEBによる回答

対 象 者 :奥多摩町に来訪した方

回 答 数 :145件 ※2026年4月27日時点

Q.奥多摩エリアの満足度を教えてください。

(n=145)



【特徴・分析】

■「満足」「やや満足」の回答が約9割、普通が約1割と、観光における満足度はかなり高い。

・豊かな自然、ゆったりとした時間の流れ、公共施設の清潔さ（トイレがきれい）等の声が多い。
・一方、駐車場や平日営業の飲食店の少なさ、インバウンド増加による環境変化に関するご意見もみられた。

3. 2026年度の予定

■沿線DMOの活動予定

項目	詳細	実施状況	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
申請・報告	観光庁への事業報告	未													
	登録DMO申請書提出	未	申請			書類審査				ヒアリング審査			登録 認定		
(1) 協議会運営 (合意形成)	第1回開催 (地域コアメンバー中心・データ収集依頼)	未													
	(必要に応じて) (地域の多くの方にオープンな場にする、 前年度の活動報告、次年度の活動予定共有)	未													
(2) データ収集	オンラインアンケート実施	未													
	KPI・PDCA策定	未													
(3) プロモーション	タブロイドの発行	未													
地域	住民アンケート	未													
	ワークショップ 地域ガイド研修(秋山さんが新人雇用者に実施)	未													
観光の 磨き上げ	日帰りツアーの実施(年2回程度実施) ※詳細検討中	未													

※2025年度の登録申請に提出したが、運営体制の課題から残念ながら不採択。⇒課題の見直し・改善を行い、2026年度の登録申請への提出を予定。

観光の取り組みに対する住民満足度調査

【2025年度】



沿線まるごと株式会社

2026年4月

【目次】

1. 調査目的・概要	1
2. 調査結果	
-1. 性別	2
-2. 年代	3
-3. 居住地	4
-4. 満足度（回答手法別、性別、年代別、居住地別）	5
-5. 満足度に対する評価の理由	8
-6. 今後の観光の取り組みにおいて必要だと思うこと	16
-7. その他、意見や提案	18
3. 課題解決に向けた施策案	25
4. 総括	26

1. 調査目的・概要

【目的】

地域DMOとして観光地域づくりを行うにあたり、観光振興が住民生活に与える影響や、観光公害（オーバーツーリズム）の発生状況を客観的に把握し、住民の理解と協力を得ることで、地域と共生した持続可能な観光まちづくりの合意形成と観光基盤を構築する。

【概要】

回答時期：2026年2月25日(水)～3月22日(日)まで

周知方法：奥多摩町実施の回覧板にて各世帯に周知、町内放送による呼びかけ

回答方法：WEBまたは郵送による回答

対 象 者：奥多摩町在住の18歳以上の町民、一世帯あたり1回答

※協力いただける方は同居人含め複数回答可能とする

回答数：337件（WEB…189件、郵送…148件）

回答率：17.9%（WEB…10%、郵送…7.9%） ※奥多摩町の世帯数：1,879件

【質問項目】

- ①性別
- ②年代
- ③お住まいの地区（自治会）
- ④奥多摩町の観光の取り組みに対する満足度
- ⑤満足度評価にする理由
- ⑥今後の観光の取り組みにおいて必要だと思うこと（複数選択可）
- ⑦その他、ご意見やご感想等の自由記入

泊線まるごと株式会社・奥多摩町観光産業課「観光地域づくりアンケート」

該当する項目に○を付けてください。

【問1】 あなたの性別を選択してください。

① 男	② 女	③ その他
-----	-----	-------

【問2】 あなたの年齢を選択してください。

① 10代	② 20代	③ 30代	④ 40代	⑤ 50代
⑥ 60代	⑦ 70代	⑧ 80代以上		

【問3】 お住まいの地区（自治会名）を選択してください。

① 川井	② 大丹波	③ 梅沢	④ 丹三郎	⑤ 小丹波	⑥ 棚沢	⑦ 白丸
⑧ 大水川	⑨ 常磐	⑩ 長畑	⑪ 南米川	⑫ 新久保	⑬ 大沢	⑭ 日原
⑮ 海沢	⑯ 境	⑰ 中山	⑱ 小河内			

【問4-1】 奥多摩地域の観光の取り組みに関する満足度を選択してください。

① 満足している	② やや満足している	③ やや不満である	④ 不満である
----------	------------	-----------	---------

【問4-2】 上記の評価に対する理由を教えてください。

--

【問5】 今後の観光の取り組みにおいて必要だと思うことを選択してください。

① 住民・観光客との交流	② 地域産業の推進（農林漁業等）	③ 観光商品企画の推進
④ 特色あるお土産・商品の開発	⑤ 観光施設の拡充	⑥ 交通・宿泊施設の整備
⑦ インバウンド受入環境の整備	⑧ 人材の育成	⑨ 情報発信強化
⑩ その他（		）

【問6】 その他、ご意見やご提案等ございましたらご記入ください。（裏面可）

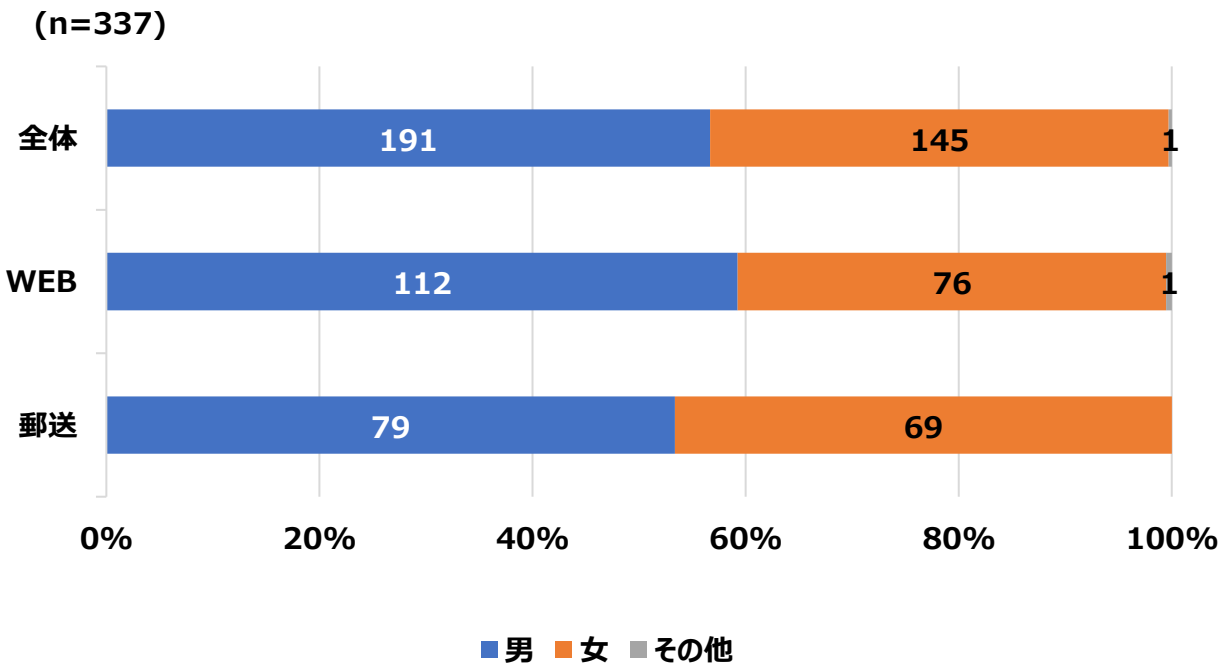
--

ご協力誠にありがとうございました。

2. 調査結果

2-1. 性別

Q.性別について教えてください。



性別	郵送	WEB	全体
男	79	112	191
女	69	76	145
その他	0	1	1
合計	148	189	337

【特徴・分析】

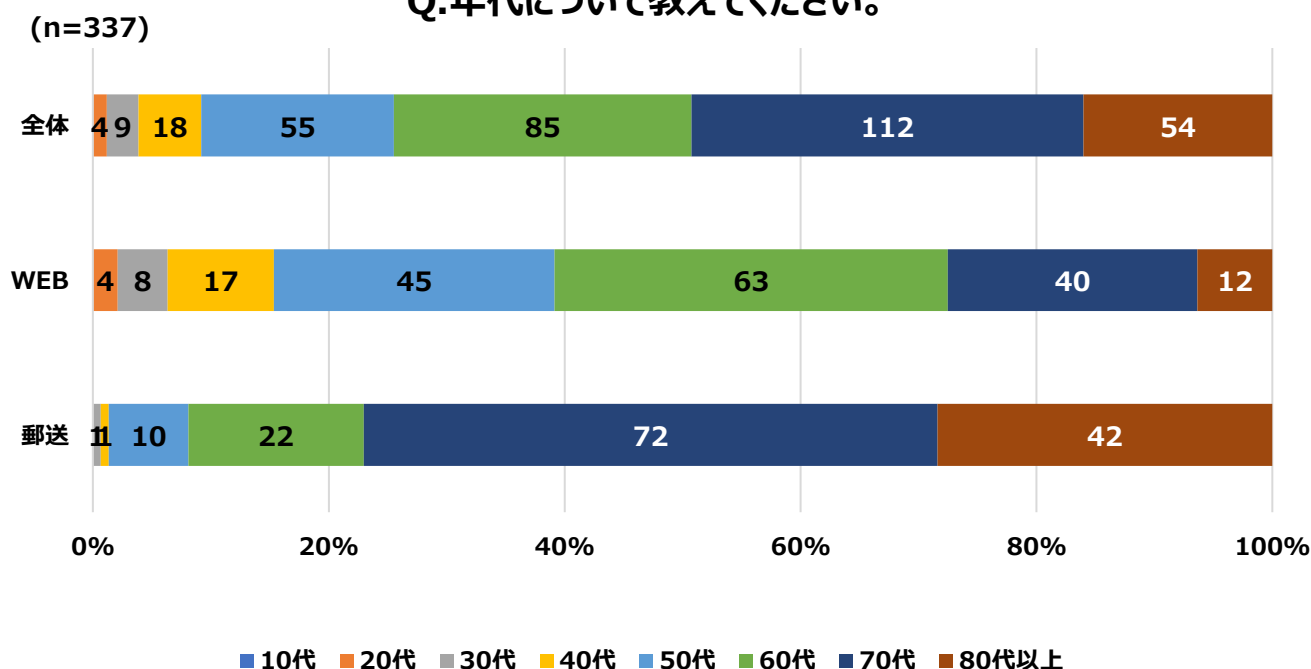
■ 性別の構成比較：手法による大きな差はなし。

- ・WEB（男性59.3%：女性40.2%、その他0.5%）、郵送（男性53.4%：女性46.6%）と、どちらの手法でも男性の回答がやや多い傾向は共通している。
- ・性別に関しては、どちらの手法をとっても極端なバイアスは発生しにくいことがわかる。

2. 調査結果

2-2. 年代

Q.年代について教えてください。



年代	郵送	WEB	全体
10代	0	0	0
20代	0	4	4
30代	1	8	9
40代	1	17	18
50代	10	45	55
60代	22	63	85
70代	72	40	112
80代以上	42	12	54
合計	148	189	337

【特徴・分析】

■ 年代の構成比較：50～80代の回答が全体の90%を占めており、各手法によってボリュームゾーンに変化がみられる。（50代以上の意見が反映）

・WEB回答では、40代～70代（現役～アクティブシニア層）の割合が高く、60代が最も多い。
20代～40代の若年・現役層の回答はWEBに集中している。

⇒働き世代や子育て世代の意見を吸い上げるには、WEB調査が不可欠なツールであると読み取れる。

・郵送回答では、後期高齢層の70代～80代以上が圧倒的多数

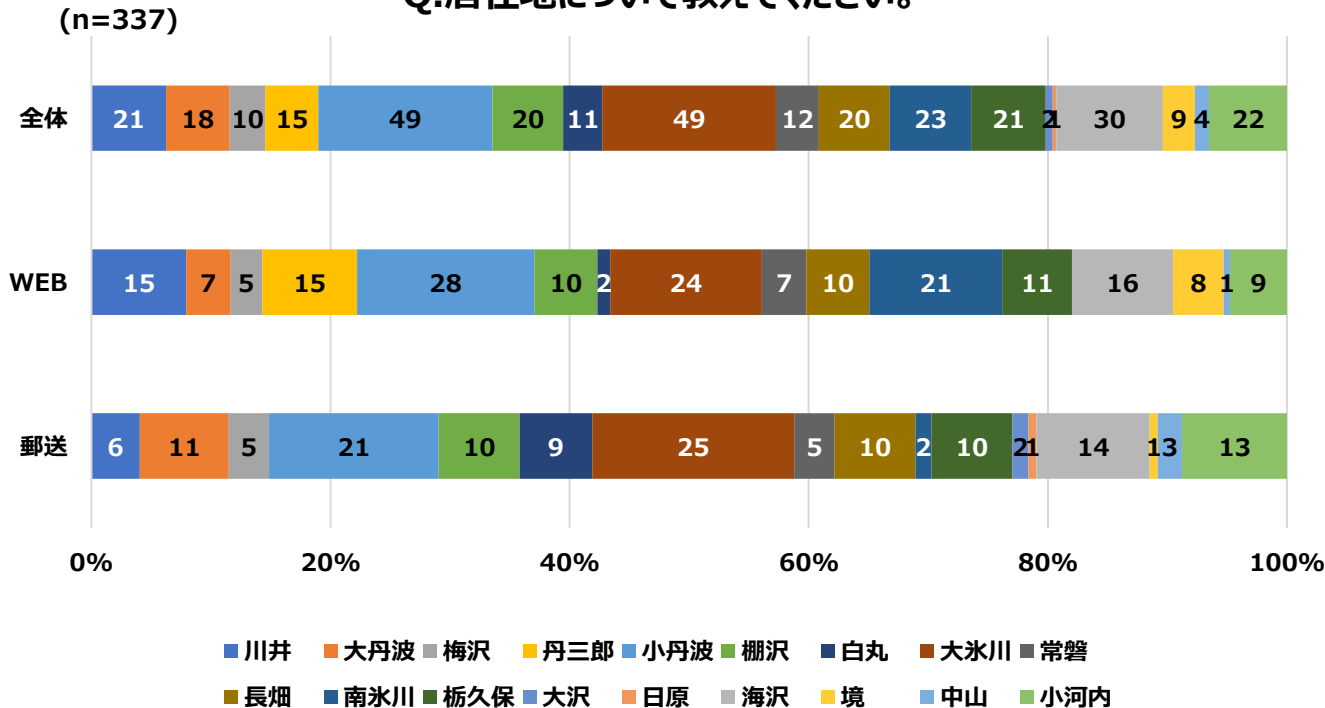
（合計114件：郵送回答全体の77%）である一方、50代以下の郵送回答はほとんどない。

⇒デジタルツールに馴染みの薄い層の意見は、従来型の郵送調査でなければ完全に切り捨てられてしまうリスクがあったと言える。

2. 調査結果

2-3. 居住地（自治会）

Q.居住地について教えてください。



住まい	郵送	WEB	全体
川井	6	15	21
大丹波	11	7	18
梅沢	5	5	10
丹三郎	0	15	15
小丹波	21	28	49
棚沢	10	10	20
白丸	9	2	11
大氷川	25	24	49
常磐	5	7	12

住まい	郵送	WEB	全体
長畑	10	10	20
南氷川	2	21	23
栃久保	10	11	21
大沢	2	0	2
日原	1	0	1
海沢	14	16	30
境	1	8	9
中山	3	1	4
小河内	13	9	22
合計	148	189	337

【特徴・分析】

■ 回答手法の地域的な偏りあり。

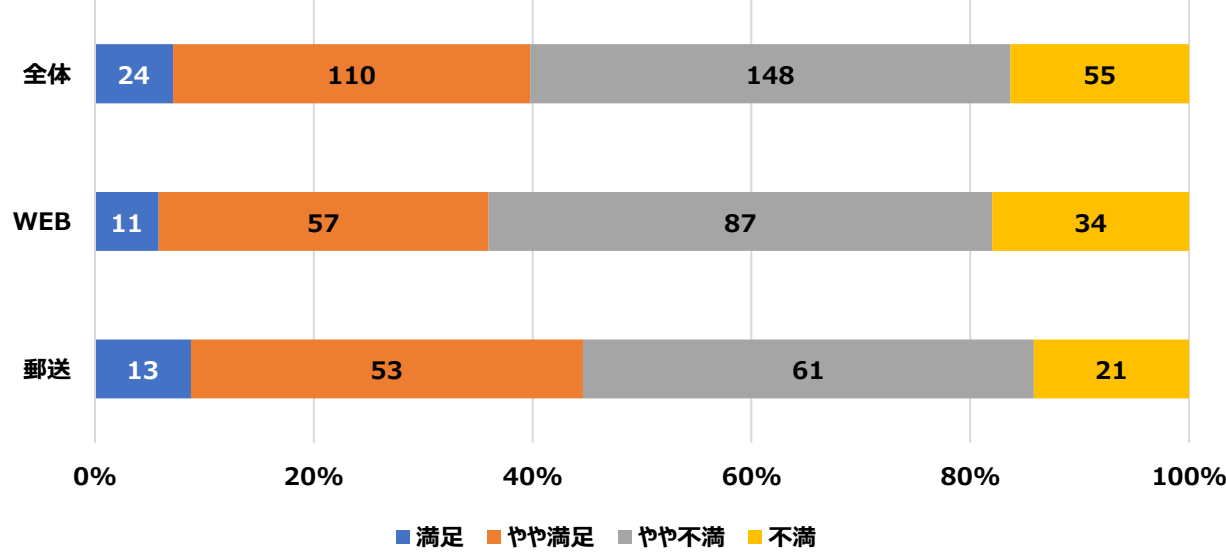
- ・**丹三郎・南氷川**は、WEB回答が圧倒的に多く、比較的現役世代やアクティブな層が居住している、あるいはWEBアンケートの告知が届きやすい環境にあると推測される。
丹三郎（15件/WEB比率100%）南氷川（24件/WEB比率約91%）
- ・**大丹波・白丸・日原・小河内**のような駅から離れた集落や、より高齢化が進んでいるエリアにおいては、郵送回答の割合が高い。
- ・**大氷川**や**小丹波**における回答方法の比率（WEB：郵送）はほぼ1:1の比率となっている。
町役場や中心商店街があるエリアのため、あらゆる世代が混在しており、デジタルとアナログ両方の告知がバランスよく機能したといえる。

2. 調査結果

2-4. 満足度

Q.奥多摩地域の観光に対する満足度を教えてください。（回答方法別）

(n=337)



満足度	郵送	WEB	全体
満足	13	11	24
やや満足	53	57	110
やや不満	61	87	148
不満	21	34	55
合計	148	189	337

【特徴・分析】

■手法による満足度には大きな差はない。

・「満足」「やや満足」の回答が約4割、「やや不満」「不満」の回答が約6割で、観光に対する取り組みについて不満を感じる住民がやや多い。

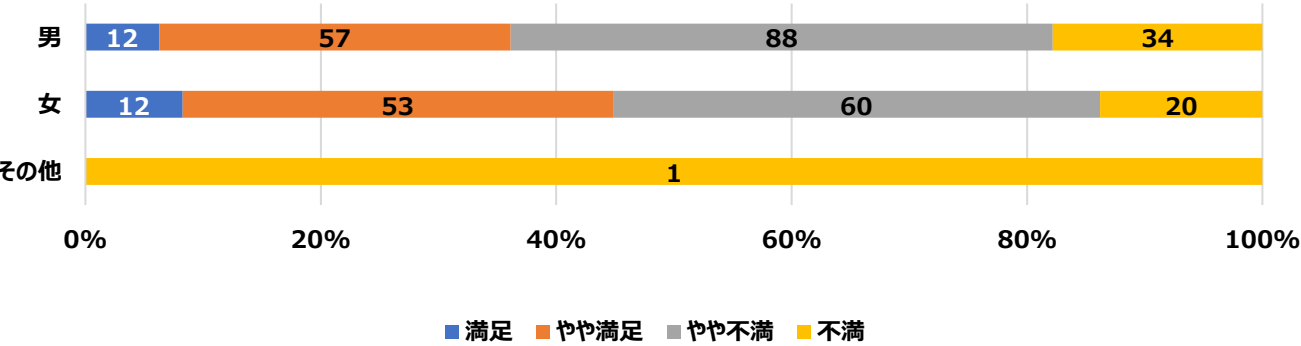
※今回の調査では、満足度評価を分かりやすくするために、「どちらともいえない、普通」等の選択肢は設けていない。

2. 調査結果

2-4. 満足度

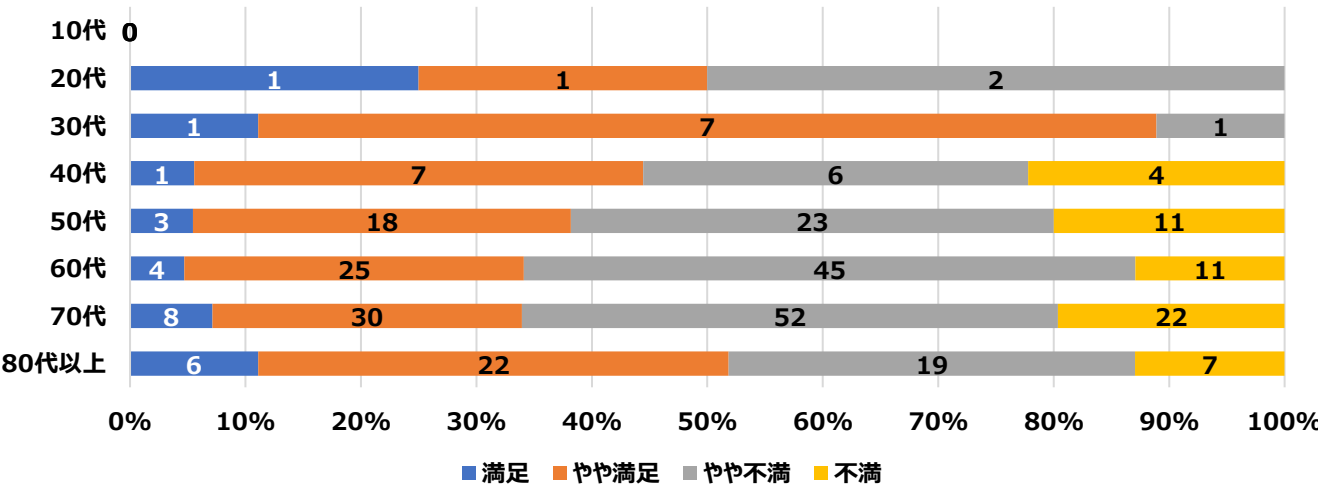
(n=337)

満足度(性別)



(n=337)

満足度 (年代別)



<性別>

<年代別>

満足度	男	女	その他	全体
満足	12	12	0	24
やや満足	57	53	0	110
やや不満	88	60	0	148
不満	34	20	1	55
合計	191	145	1	337

満足度	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体
満足	0	1	1	1	3	4	8	6	24
やや満足	0	1	7	7	18	25	30	22	110
やや不満	0	2	1	6	23	45	52	19	148
不満	0	0	0	4	11	11	22	7	55
合計	0	4	9	18	55	85	112	54	337

【特徴・分析】

■ 性別の満足度：女性の方がやや満足度は高い。

・回答数は男性の方が多いものの、満足度の割合では男性が40%未満、女性が40%超となっている。

■ 年代別の満足度：30代の約9割が「満足」、60、70代の約7割が「不満」と回答

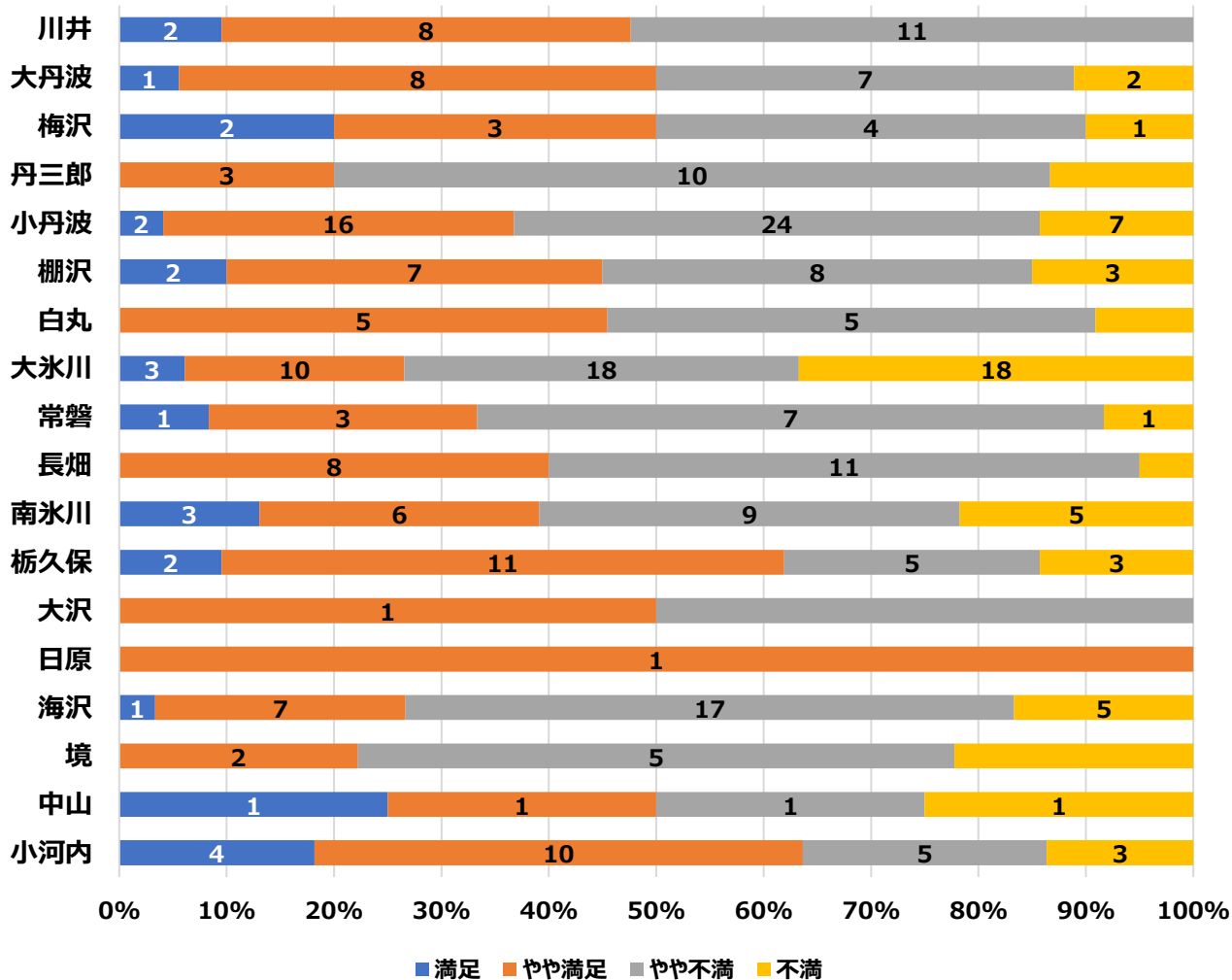
・30代が圧倒的に高く、次いで80代の順に満足と評価しているが、一方で30代を除く20～70代は年代が上がるにつれて満足度が下がっている。

2. 調査結果

2-4. 満足度

満足度（居住地別）

(n=337)



満足度	川井	大丹波	梅沢	丹三郎	小丹波	棚沢	白丸	大氷川	常磐	長畑	南氷川	栃久保	大沢	日原	海沢	境	中山	小河内	全体
満足	2	1	2	0	2	2	0	3	1	0	3	2	0	0	1	0	1	4	24
やや満足	8	8	3	3	16	7	5	10	3	8	6	11	1	1	7	2	1	10	110
やや不満	11	7	4	10	24	8	5	18	7	11	9	5	1	0	17	5	1	5	148
不満	0	2	1	2	7	3	1	18	1	1	5	3	0	0	5	2	1	3	55
合計	21	18	10	15	49	20	11	49	12	20	23	21	2	1	30	9	4	22	337

【特徴・分析】

■ 各集落における満足度にばらつきがある。

- ・大丹波、海沢、栃久保、大沢、日原、中山、小河内集落は「満足」と回答する割合が50%以上である。
- ・一方で、丹三郎、大氷川、海沢、境集落は「不満」と回答する割合が70%超となっている（＝「満足」の割合が30%を下回る）。

2. 調査結果

2-5. 満足度に対する評価の理由

「満足」「やや満足」と回答した計134名のうち、満足という評価の理由として記載されたものが以下となる。

【主な評価内容（ポジティブ）】

- ・公共施設の維持管理：トイレ清掃が行き届いている、ゴミが落ちていない 等
- ・個人や民間企業の新たな取り組み：バテレや卵道などの事業者の活躍、山のふるさと村のイベント 等
- ・行政の姿勢・施策：観光PRによる集客活動、宿泊キャンペーン、地元の広報活動 等

	評価コメント①（ポジティブ）	年代・集落
1	奥多摩町の公衆トイレは清潔感は最高です	60代・大氷川
2	広報見てます	70代・大氷川
3	町・観光団体がよくやっていると思う、住民の理解が今一つ	80代以上・日原
4	都内が近いこと、自然が美しく水が非常にきれい	80代以上・棚沢
5	色々なイベントに行っても、どこにもゴミ一つ落ちていなくて、行き届いています。	80代以上大丹波
6	観光客の受け入れの意気込みを感じます。	60代（栃久保）
7	奥多摩地区では精いっぱい行っている	80代以上（栃久保）
8	公共のトイレの清掃が行き届いている	70代（小河内）
9	観光トイレの設備・管理はとても立派なことだと思うので	70代（棚沢）
10	遊歩道（大氷川～楯久保）	70代（大沢）
11	家の周りに人がいなくても駅に行くと観光客がたくさんいることに驚く。奥多摩がいいところだと分かっているんですね。	80代以上（大氷川）
12	お祭りが8月第3日曜に棚沢と被りますが、パワースポットの神社でもありますし、見る価値がありますので、ぜひ誘致の取り組みをお願いしたい。	70代（白丸）
13	住民の少ない中、それぞれの分野で頑張っていると思う。	70代（大氷川）
14	素晴らしい自然が残されている	70代（小丹波）
15	観光案内の冊子やホームページ等による集客活動が増えた。町の観光大使の活用等が今後期待できる。	60代（大丹波）
16	環境の整備、道路等拡張	60代（栃久保）
17	特に不満と感じたことがないのでこの評価といたします。	40代（川井）
18	高齢化の中師岡町長はじめ職員各位が誠意ある行政を執行しております。	70代（小丹波）

2. 調査結果

2-5. 満足度に対する評価の理由

「満足」「やや満足」と回答した計134名のうち、満足という評価の理由として記載されたものが以下となる。

	評価コメント②（ポジティブ）	年代・集落
19	目ぼしい名所や景勝地も無く乏しい観光資源の元、腐心しているのがよく分かるから。	50代（棚沢）
20	生まれた時から住んでいて愛着ある	60代（栃久保）
21	バテレとかポートオクタマとか山鳩とかわさび屋さんとか卵道とか丹三郎とか、ブルーグリーンジャーナルとか、三ツ杉ラーメンとか、山のふるさと村とか、アウガとか大丹波のサウナとか釜めし屋さんとかなどなどいろいろな工夫がされています。まあ、課題としては猿や熊やなどこともあるし、超金持ち向けの宿などはどうでもいいけど、できれば日本で働いている外国籍の人たちも一緒に楽しめるものがあったらいいと思います。	60代（南氷川）
22	取り組みはとても良いと思うが、まだ伸び代があると思うので	30代（小丹波）
23	お客様が多くなっていると感じているから	40代（大氷川）
24	個人でも出店して積極的にやっているように見える。町の観光課も継続的に取り組んでいると思う。	60代（南氷川）
25	宿泊者に商品券を配っている	40代（小丹波）
26	若者頑張ってくれてる気がする	50代（境）
27	森林セラピーや山のふるさと村でのイベントが充実しているから	60代（棚沢）
28	町としてイベントなど、観光事業に力を入れていると思う	70代（大丹波）
29	観光のお客様が多い。	50代（川井）
30	ゴミの問題や、野生動物に関する情報など、観光客にも丁寧に伝えている点は素晴らしいと思う。ある程度経済的に余裕のある方向けのイベントは多いが、ファミリーで気軽に遊びに来られるような場がもう少しあるといいと思う。	50代（海沢）
31	広報などで取り組んでいるのを見ているので	60代（大氷川）
32	以前より奥多摩駅周辺に特色のあるレストランやカフェ、ショップが増えている。若い人にも魅力を感じさせる店や施設がもっと増えることを期待している。	50代（川井）
33	貸自転車や旧小川商店に店が入ったこと。奥多摩の台所、奥多摩駅カフェもよい。	

2. 調査結果

2-5. 満足度に対する評価の理由

「満やや不満」「不満」と回答した計203名のうち、不満という評価の理由として記載されたものが以下となる。

【主な評価内容（ネガティブ）】

- ・観光インフラ（駐車場、飲食店等）と利便性：駐車場や飲食店が少ない、受け入れ態勢が不十分 等
- ・交通問題と安全対策：道路が狭く、遊歩道やサイクリングロードがない、むかし道の整備、電車の本数 等
- ・観光公害（ゴミ・マナー）：ごみ問題、その解決に向けた啓発活動の推進 等
- ・地域雇用：住民の雇用促進、地元にお金が落ちない 等
- ・PR・情報発信不足：情報発信が弱い、地域住民が観光の取り組み辞退を把握できていない 等

	評価コメント①（ネガティブ）	年代・集落
1	国道・町道の整備、日向田人道のところにスズメバチの巣があります	80代以上・大氷川
2	まわりを良く見て下さい	80代以上・境
3	店が少なく、ゴミが多く残ってる	60代・棚沢
4	道の駅みたいなものが奥多摩湖にあるといいかなと思います。ドッグランなども近くにあれば活気が出ると思います。	50代・海沢
5	観光に魅力がない、もっと特徴を	70代・棚沢
6	立ち寄ってもらえるような場所がもう少しあればよいと思います。道の駅など。駐車場も少ないと思うので、有るといいと思います。	50代・長畑
7	道の駅のような施設などを創り、町の活性化を図る。	70代・大氷川
8	ダム、駅前島で固定のふるさとを流す。（奥多摩温度、炭焼小唄）	70代・海沢
9	どちらでもない。トイレがきれいなのはうれしい。町であまり遊ばない。	80代以上・白丸
10	倒れそな空き家もそのままになっており、道路沿いでは壊れた屋根などが飛んできそうで、歩行者や車にぶつからないかと心配。	70代・中山
11	奥多摩は山と渓谷のある町で箱根にはない、この箱根に遜色なき観光地であり町死の観光立町を真剣に推進願いたい、交通アクセスも良いので町衰退の現状から	80代以上・大氷川
12	町が観光でうるおい、様々なことができればよいと思います。	80代以上・大氷川
13	観光ゴミ・不法駐車など負の行為で地元の人々が迷惑している、町外から来て欲しいが逆に迷惑になっている	70代・棚沢
14	もう少し商店街通りを明るくするような企画、山はだに花などがあると良い。駅前にキッチンカーが出ているのはよろしいかと思います。まだおひなさまが残っていると思うので、各家の前に1件ずつ並べていくとかする。	70代・大氷川
15	ハイシーズンの時期になると、路駐が増えて、緊急車両等の通行の妨げになるので、圧倒的に観光客向けのパーキングが足りていないと思います。	60代・栃久保
16	どこでもやっているような取り組みで特色がない、魅力に欠けるから	60代・大氷川
17	自然の良さを活かされていないように思う。	60代・大丹波
18	丹波山や小菅に比べて観光に対しての取り組みに力を入れていないような気がする。	70代・大氷川

2. 調査結果

2-5. 満足度に対する評価の理由

「満やや不満」「不満」と回答した計203名のうち、不満という評価の理由として記載されたモノが下となる。

	評価コメント②（ネガティブ）	年代・集落
19	駅前に小さくてもよいので商店があると、電車から降りた時にお弁当、おにぎり、ドリンクがあったり、お土産なども置いてあると良いと思う。地元の人に人も使える道の駅のような場所でもよいと思います。	60代・海沢
20	もえぎの湯など、特徴のある素晴らしい湯を町民に知ってもらい、一人一人に広く宣伝してもらい広めたい。シーズンオフ等町民に安く入浴させてもらえると良いと思う。	80代以上・海沢
21	評価する結果が視覚的に分かる形として示されていないためわからない。客観的に評価したものを示して欲しい。	30代・長畑
22	観光にいらっしゃる方にはかなり優遇されている感があり、私たちシニア世代の状況も見つめて頂きたいです	70代・常磐
23	革や歩道などにペットボトルやビニール類の空袋のポイ捨てが毎年多く繰り返されている。何とかならないでしょうか。	70代・海沢
24	取り組みがあまり見えていない	70代・大氷川
25	観光地としての環境整備が不十分。国道沿いの雑木等が見た目にもきれいではなく暗い印象ける。	60代・長畑
26	目立った観光があるようでない気がします。ふれあい祭りのようなイベントを寒くない春など行って、観光に取り入れてみてはどうか。	70代・海沢
27	地域住民からの発信があまりないように思う。地域住民の積極的な参加がない。	70代・海沢
28	地域における観光のPR不足	60代・大沢
29	杉林ばかりで警官が悪いです。地主さんと交渉して、国道沿いだけでも新緑～紅葉の樹木に植え替えることを希望する。	70代・棚沢
30	アピールが足りない	70代・栃久保
31	観光客のマナー	50代・白丸
32	駐車場と食事場所の不足	70代・海沢
33	地域住民への発信がないように思う	70代・大氷川
34	戦後80年と言われても戦争中孫3人を連れて都内から疎開し戦後から世話になったと盆ぐれに品物を送って下さりその方が2組もある、要は心の問題です、思いやりの心。歴代の町会議員・業者等がえらい気持ちになってお高く止まり親切心に欠けた。	80代以上・小河内
35	駐車場対策の不備、誘導員、その他	80代以上・棚沢
36	もっと観光に対して力を入れてやってほしい。	80代以上・小丹波
37	青梅駅から奥多摩駅の連絡をスムーズにしてほしい。奥多摩駅の食の少なさ。	70代・大氷川
38	取組の動きが見えてこない。	80代以上・長畑
39	先人が畏敬を持ち、自然に即して美しい生き方で残してきた国立公園です。現代の町民はそのような生活はほとんど見られず、景観を無視した行為がほとんど。建物の外観など花で飾るのではなく、フェンスに布団を干す、観光や登山で見える世界の人を通る道路沿いの身近もそのようなみっともない状況。外からどう見えるのか美意識が無く文化度が低い。	70代・大氷川

2. 調査結果

2-5. 満足度に対する評価の理由

「満やや不満」「不満」と回答した計203名のうち、不満という評価の理由として記載されたものは以下となる。

	評価コメント③（ネガティブ）	年代・集落
40	町内において将来無し	70代・長畑
41	四季折々の奥多摩の風景は市民でも素晴らしいと思っていますが、インターネット等で毎日でも週間でも、どこのスポットがおすすめ等のお知らせを載せるといいのかな！	70代・小丹波
42	奥多摩の観光は何か？と問いかけられたら、何と答えればよいのかはつきり分かりません。奥多摩はほかのところよりこれが1番というものが無い。	60代・小丹波
43	駐車場が少ない	60代・小丹波
44	観光するものがない	70代・小河内
45	気が伸びすぎていて景観が悪い。手入れをしないと暗くて、景色が悪い。氷川大橋に提灯をつるしていても木で見えない。	60代・大氷川
46	自らやろうとしない。企画力、実行力が不足。	60代・白丸
47	新しいもののばかり追わず、豊かな自然や古き良き文化を残しつつ、地域の先住民との共生を図るべきである。	70代・小丹波
48	取り組んでいる内容が見えてこない	70代・川井
49	古民家を再生してホテルになるという案はよいが、近隣住民に説明会もなく工事が始まり、迷惑を被った話を聞いたから。	50代・小丹波
50	地元民が優先して使える駐車場の確保。観光シーズンの渋滞対策。	50代・大氷川
51	サル、ハクビシン、イノシシ、クマ	70代・小丹波
52	持続可能な取り組みになっていないものもあるのでは？	50代・小丹波
53	集客施設が無く、駐車場が少ない。	70代・小丹波
54	もっと力を入れてほしい。目玉になるものをやってほしい。	70代・梅沢
55	何をしても中途半端。観光を主としているとは思えない。	70代・白丸
56	取組状況が分からないので。	70代・小河内
57	新規観光名所が必要。道の駅、花の山など	80代以上・小丹波
58	新しいもののみでなく、歴史的建造物等を通して、奥多摩の魅力をアピールすることも必要ではないか。地名の由来は奥多摩の歴史と捉え、町全体を調べなおすことにより、狭い町の偉大な姿がよみがえるのではないか。	70代・小丹波
59	駐車場が奥多摩駅周辺に少ないので、近く空き家を買収したり、または所有者に駐車場の経営を勧めていただきたい。	70代・小河内
60	ここ数年外国人が多く訪れてくる奥多摩むかし道ですが小河内ダムまでの長い距離のなかでスタート地点に近い羽黒神社付近から旧小河内線までの間とその先の狭い橋から町道槐木線までの間は全く補修もされず石が剥き出しになり道幅も狭く安全のための柵もなく転倒滑落の危険が年々大きくなってきていると感じますむかし道のなかで最も危険な箇所だと思います子供も老人も安心して歩行できるようまずは可能なことから実行すべきだと思います安全安心があつてのむかし道観光です	70代・常磐
61	地元住民の雇用促進が不十分	60代・小丹波

2. 調査結果

2-5. 満足度に対する評価の理由

「満やや不満」「不満」と回答した計202名のうち、不満という評価の理由として記載されたものは以下となる。

	評価コメント④（ネガティブ）	年代・集落
62	駐車場、食事処、コンビニの不足	40代・栃久保
63	奥多摩町に来てても駐車場が無く何処にも寄れない	70代・丹三郎
64	町民が困らない様な、共存	60代・常磐
65	年間を通した、地域全体を包括的に取り組んだ施策がないと感じます。特に小河内地区は駅からも離れ、移動手段のバスも少なく車のみ。沿線でもなければ丸ごとでもなく取り残されてる感が強いです。	50代・小河内
66	奥多摩町を起点として、丹波、小菅、塩山地域との連携の広域的視点が必要だと思います。また、インバウンドと並行して都民の誘致の視点も大事だと思います。	70代・丹三郎
67	町の方向性が分からない	70代・大氷川
68	道路が狭いため、遊歩道やサイクリングロードが無いので安全面に不安がある広い駐車場と、道の駅が無い。	60代・海沢
69	観光の核となるような施設があると良いのではと考えています。	70代・川井
70	役場の職員のやる気が感じられない。	40代・栃久保
71	町外からの誘客姿勢が弱い 奥多摩町にはどのような観光資源があるのか？ 日本全国を見て他の同じ様な市町村はどのような取り組みを行なっているのかを研究してはどうか 若者向け住宅を作り安い賃料や手当で受け入れても 町の中の賑わいや積極的な姿勢を感じとれる様な風土にしなければ若者の定住化は難しいと考える 林業 石灰がダメになった今 観光しかないのだからテレビに取り上げられる様な奇抜なアイデア等を入れたりして賑わいのある町創りをして欲しい。	60代・小丹波
72	地元以外人が奥多摩で商売して地元にお金が落ちないようにみえる。	60代・白丸
73	もっと積極的なびいあーるをしてほしい。	60代・大丹波
74	一体感無し	60代・棚沢
75	(訪日外国人観光客)の呼び込みを積極的に行えば飲食業界など町に経済効果をもたらすのでは!?	70代・常磐
76	観光の取り組みが何かわかりません	60代・常磐
77	もう少し住民が参加出来るような体制を。	70代・梅沢
78	町の資源を活かして、町外からの関係人口を増加させていく良い取り組みと思う。	40代・大氷川
79	観光客が買い物を楽しむ、食事をする場所が無さ過ぎです。特に古里地区。お店の経営者は客商売なので、営むのに大変なことが多々あるかと思いますが、お店が存続できる為に補助金をするとか…。何かとアピールが無さ過ぎ。町に住んでいても情報がぜんぜんわからない。	40代・丹三郎
80	目立つような物が無い	40代・大氷川
81	観光客に敷地内にゴミを捨てられてこまる。	60代・長畑
82	観光施設、広報が不十分	70代・川井

2. 調査結果

2-5. 満足度に対する評価の理由

「満やや不満」「不満」と回答した計202名のうち、不満という評価の理由として記載されたものが以下となる。

	評価コメント⑤（ネガティブ）	年代・集落
83	観光の目玉となるところがない、遊歩道も整備されていない、進入禁止の規制が多くしぜんを満喫できないところが多い	70代・大氷川
84	取り組み内容が不明瞭	50代・丹三郎
85	山登り、カヌー、カヤックなどのアクティビティはそれが好きな人には良いかもしれないけれど、あまり気軽に体験できるイメージがない。駅周りのお店が空きテナントがあったり寂しいイメージ。	50代・海沢
86	美味しい飲食店がない	50代・小丹波
87	TV等には取り上げられていますが、特徴が薄く感じられます。	60代・丹三郎
88	年配の方が細かすぎる	60代・小丹波
89	観光イベントなど奥多摩駅中心と言うのが強い	50代・小河内
90	奥多摩町としてのアピールの場所も少なく唯一の奥多摩湖もメインがない、日原鍾乳洞もがけ崩れがおおく1本道の為交通渋滞が酷い、川のアウトドアも規制が大きく観光客も思うようには遊べない等々…	70代・南氷川
91	アピールの場所も少なく唯一の奥多摩湖もメインがない、日原鍾乳洞もがけ崩れがおおく1本道の為交通渋滞が酷い、川のアウトドアも規制が厳しく観光客も思うようには遊べない等々…	70代・南氷川
92	せっかくの観光地なのに 地元民が立ち上げていない。これから？ 仕事場も少なく、過疎化。	60代・海沢
93	納涼花火大会が折角盛り上がっているので、町民以外の方にも募金に協力してもらってはどうか。	50代・栃久保
94	東京の奥座敷という強みを活かせていない。付加価値の高い商品サービスを提供できていない。1次産業と3次産業が連携できていない。	60代・南氷川
95	どんな対応しているのか、PR不足だとも思います。	70代・南氷川
96	もう少し車が駐車できるスペースを広げてほしい。駅の近くにゴミ箱を設置してほしい。	40代・南氷川
97	PRが十分とはいえないのではないか。町全体としての取り組みが見えない。	60代・川井
98	なぜかパツとしない	60代・丹三郎
99	役場職員自体が町に興味を持たなすぎる	50代・栃久保
100	観光に来てくても 食事やお土産など お金を使ってもらう場所が少なく また バスなども 少なく不便かと	50代・南氷川
101	奥多摩に来て、休憩、食事するところが少ない為すぐに帰ってしまう感じがします。	60代・南氷川
102	道路が混む。ゴミがポイ捨てされている。	60代・丹三郎
103	駅周辺での飲食店が少なく駐車場も少ない。	70代・海沢
104	自分の目には観光に力をいれているようには見えない	70代・南氷川
105	東京都にあり都心から近いのに、戦略がないと思う。	60代・川井
106	行政も町民も観光に肝心が薄い	80代以上・小丹波

2. 調査結果

2-5. 満足度に対する評価の理由

「満やや不満」「不満」と回答した計202名のうち、不満という評価の理由として記載されたものが以下となる。

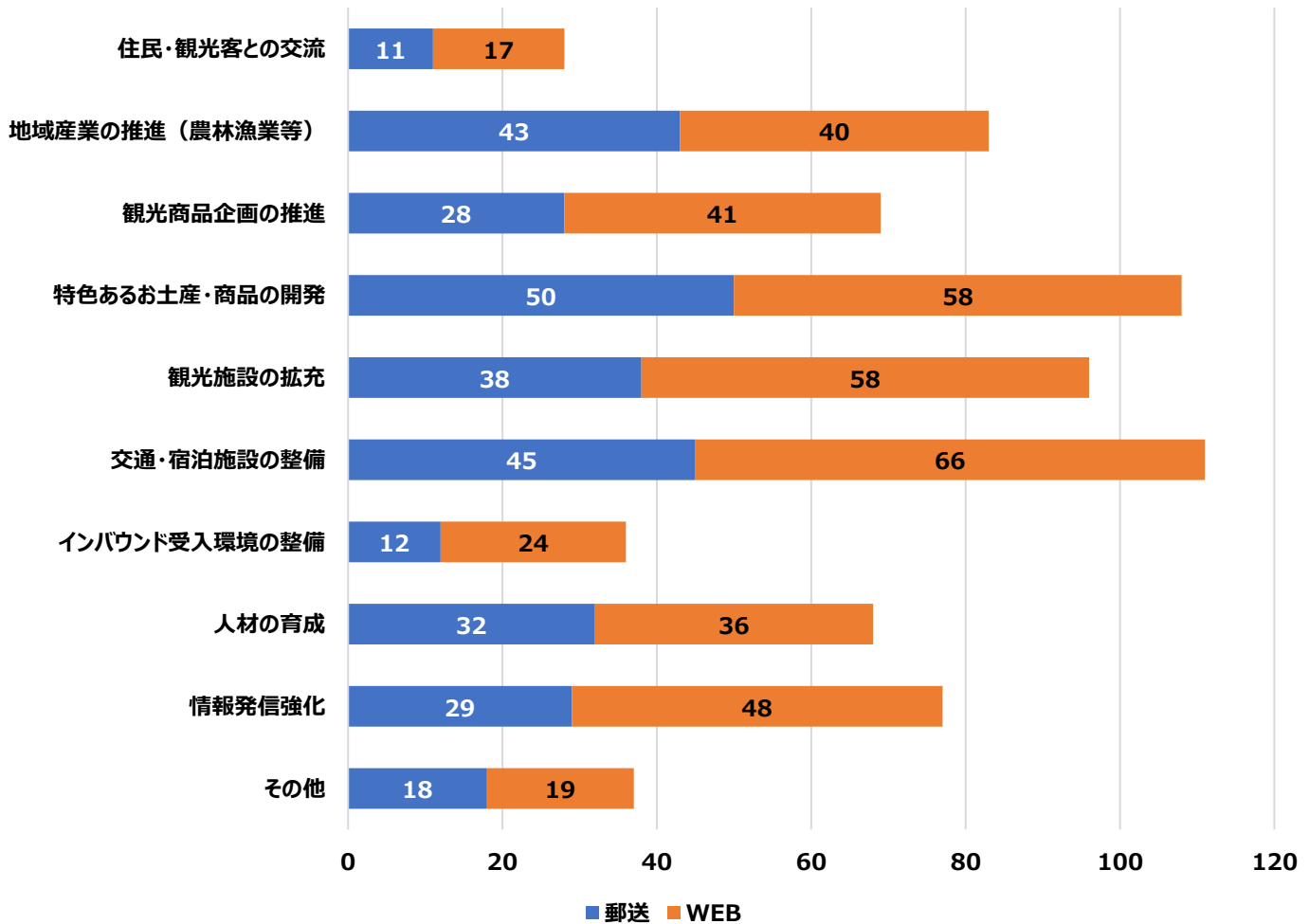
	評価コメント⑥（ネガティブ）	年代・集落
107	地元の経済効果に疑問がある観光客のマナーが良くない	50代・境
108	ゴミ対策が不十分	50代・小丹波
109	鬼滅の刃が長年に渡り（波のように強まったり弱まったりではあるが、しかしまだ映画はかんけつしていな。まだまだこの波は続く）流行しており、主人公の生家が雲取山であるのに、なぜこれを生かさないのかと残念。また、後でも書くが、何が沿線丸ごとホテルになっているのか、よく分からない。それから、キャラクターはいいとしても、一番のウリが山葵は弱いと思う。わさびってそんなに食べますか？	60代・小丹波
110	昔に比べたら観光に取り組んでいると思いますが、アピールの仕方がまだまだなんだと思います。	50代・大氷川
111	観光客や奥多摩町住民が食品（スーパー）などのお店が少ないので困っていると思います。厳しいかもしれませんが何とかしてほしい。	50代・川井
112	これと言う目玉がない。道の駅とかがなか昔と今と違いがない。	60代・白丸
113	道の駅のような観光の拠点がないのがざんねん。	60代・丹三郎
114	紅葉の時期以降、観光客が訪れたいくなる様な取り組みが、少ない様な思いがある為。	50代・小丹波
115	マナーの悪い人がいる、マナー向上をもう少し強く言って欲しい。	60代・境
116	お店少ない	60代・大氷川
117	駐車場が少ない観光施設も少ないと思います	60代・海沢
118	奥多摩町は非常に宣伝が下手すぎる	50代・小丹波
119	町が積極的とは感じられないため	40代・小丹波
120	奥多摩町は自然豊かな町です 山あり川あり やはりこの自然を中心に町を作ることが大切だと思います ですが 今の観光の取り組みはどこに向かって行こうとしているのか分かりません駐車場について料金が高過ぎると思いますまた 駐車場が少ないと思います奥多摩駅周辺や 古里周辺でちょっと買い物をしたくても車を駐車するところが少ないと思います	70代・大氷川
121	よく知らない、地元は出掛けにくい店も入りにくい	60代・丹三郎
122	駅周辺、ダム、鍾乳洞の見物観光が多く、新たな資源の掘り起こしができていない。登山、釣り人口の減少が見られる。	50代・小河内
123	観光シーズン、連休中に車で訪れる人の為の駐車場が少ないような気がする。	60代・海沢
124	奥多摩町で起業する事は良い事だが地元の共栄には遠いから。	50代・南氷川
125	人を集める事は大切だがオーバーツーリズム対策があまりなされてい、ビジターへのマナー周知が必要と感じる	50代・海沢
126	観光客による私有地、私道、立入禁止場所の立ち入りや歩道に駐車する為	50代・大丹波
127	集客するようなものがない	70代・境
128	ゴミ対策、道路の混雑の対策（繁忙期）、駐車場の確保、奥多摩町内をめぐる交通手段の各世（電車、バス、タクシーの少なさ）などが足りていないと感じています。	50代・川井

2. 調査結果

2-6. 今後の観光の取り組みにおいて必要だと思うこと

Q.今後の観光の取り組みにおいて必要だと思うことを教えてください。

(複数回答：最大3つ)



今後の観光の取り組みにおいて必要だと思うこと	郵送	WEB	全体
住民・観光客との交流	11	17	28
地域産業の推進（農林漁業等）	43	40	83
観光商品企画の推進	28	41	69
特色あるお土産・商品の開発	50	58	108
観光施設の拡充	38	58	96
交通・宿泊施設の整備	45	66	111
インバウンド受入環境の整備	12	24	36
人材の育成	32	36	68
情報発信強化	29	48	77
その他	18	19	37

2. 調査結果

2-6. 今後の観光の取り組みにおいて必要だと思うこと

	「その他」の回答
1	飲食店、コンビニ、スーパー
2	外国人が好き放題やり、汚くされる対策
3	小河内ダム・日原鍾乳洞の整備、道の駅等設置
4	ゴミの持ち帰りや、シニアの方々を登用して頂くとありがたいです観光客マナー向上に向けた広報活動
5	山林の利用、たとえば「花の山」にするとか（山林用）モノレールに乗り観光する等
6	観光駐車場の整備が必要（複数回答あり）
7	日本人としての暮らしの質を高めること
8	自然との共生、保存、古き良き生活分野・癒し文化の観光化
9	飲食店、道の駅のような商店の整備、確保
10	空き家活用、リノベーションしたワーケーション
11	世界でも類の極めて少ない都心に近い豊かな自然を保護しつつ、楽しめるように取り組むこと。
12	いろんなハイキングコースの環境整備
13	サイクリングロードと、広い駐車場がある道の駅をつくる。
14	町の中だけで無く、町の外の世界に広く目を向けていく姿勢を創ってほしい
15	南岸道路の早期開通
16	町に住んでいる動物の動物園を作ってみたら。雇用にも繋がるのでは。
17	観光の全体設計
18	認定観光ガイド制の設立、国立公公園の中に人々の生活もあるという事の周知活動
19	開発しすぎない、自然も残す
20	獣害対策を。
21	季節に左右されない観光誘致
22	道の駅を作る。

【特徴・分析】

■「奥多摩らしさ」が分かるモノ・コトに必要性を感じている傾向にある。

・全体で見ると、「交通・宿泊施設の整備」への回答が最も多く、次いで「特色のあるお土産・商品の開発」、「観光施設の拡充」、「地域産業の推進」の順に多い。

・前項の満足度に対する評価を踏まえると、住民は“観光振興”よりも“生活環境の改善”を強く求める傾向にあり、特に郵送回答では観光公害や施設不足が顕著であった。一方、WEB回答では情報発信や商品開発など観光振興への期待が高く、両者の視点を統合した施策設計が必要である。

・特に課題に感じていること

⇒観光としての受入環境整備（駐車場、立ち寄り場所、休憩所、通年型の施設等の整備 等）

⇒奥多摩らしさの確立（お土産、食の選択肢 等）

⇒情報発信強化（発信しているのに住民にはあまり伝わっていない）

⇒観光公害（ゴミやマナー問題から、“観光客増加＝迷惑”と感じる住民もいる）

2. 調査結果

2-7. その他、ご意見・ご提案等

【特徴・分析】

住民からのご意見、ご提案を集約した結果、以下5項目に関する要望が多くみられた。

■ 観光拠点の創出

（前質問の「観光施設の拡充」に関連）

・道の駅のような拠点の整備

⇒地場産品の直売所、住民が日常的に利用できる飲食店といった機能を持つ拠点を整備する。

・観光資源の活用

⇒むかし道の再整備による新たなトレイルコースの開拓、廃線跡を活用したサイクリングロードを整備する。

・空き家、空き店舗の活用

⇒若手起業家向けのテナント貸出、交流スペース等による駅前のにぎわいを再生する。

■ 駐車場と交通インフラの強化

（前項の「交通・宿泊施設の整備」に関連）

・パークアンドライドの導入

⇒繁忙期は駅周辺等に車を駐車し、小型バスや電動モビリティ等で観光エリアを巡回する仕組みを構築し、渋滞緩和と環境保護を両立させる。

・駐車場の拡大・運営支援

⇒行政による空地の活用、または民間所有者による駐車場管理の委託支援等を行い、収容台数を確保する。

■ お土産・飲食サービスの充実

（前項の「特色のあるお土産・商品の開発」に関連）

・わさび続く第2、第3のブランド化

⇒奥多摩ヤマメ、ジビエ、その他新たな特産品を支援し、ストーリー性のある奥多摩ブランドを確立する。

・飲食店への支援

⇒地域事業者によるキッチンカーや物販等の出店により、観光客が食事に困らない環境を整える。

■ 戦略的な情報発信とPR

（前項の「情報発信強化」に関連）

・ターゲット別のデジタルマーケティング

⇒都民のホームグラウンドとしての訴求や、ターゲットを絞ったSNS、YouTuberとの連携による発信強化を行う。

■ 観光客のマナーと住民との共生

（前項の「インバウンド受入環境の整備」「住民・観光客との交流」に関連）

・マナー周知と環境整備

⇒観光用ごみ箱の設置、多言語によるマナー啓発の実施・内容の統一化

・住民参加型の観光運営

⇒シニア世代が活躍できる場（観光案内、清掃活動等）を作り、地域対する誇りの再認識、経済の循環を図る。

・自然や生き物との共生

⇒自然や生き物を大切にする姿勢そのものを観光資源としてアピールし、質の高い観光客を呼び込む。

2. 調査結果

2-7. その他、ご意見・ご提案等

Q.その他、ご意見やご提案等ございましたらご記入ください。	年代・集落
観光客の事故防止のためか川原に行きたいが黄色のテープが張り巡らされ地元の人間も川原に行けないのは異常な管理体制だと思う	60代・大氷川
役場入口の左側の草木の手入れをお願いします。昨年に蛇が出ていました。	80代以上・大氷川
沿線のどこにどのような施設があるのかわからない	70代・大氷川
外や遠くの方にも注力してほしい	80代以上・境
観光に対して、町として真剣に実行してほしい。	60代・棚沢
観光の目玉をつくる	80代以上・日原
ダムに犬の散歩等で行っても遊ばせるところが無く、お土産のお土産もなかなかいいものがない感じがします。	50代・海沢
YouTuberの方とのイベントなど、知ってもらえるといいなと思います。西園寺さんがおススメのYouTuberさんです。大阪の方ですが、日本全国飛び回っていて、とても勉強されていて、配信されていると思うので、ぜひコラボなどあればうれしいです！	50代・長畑
観光農園等を作り、都会の人々を呼ぶ。杉藤を切って、サクラ、もみじ等を植え、美しい山づくりをする。	70代・海沢
奥多摩町のトイレがとてもきれいで、出かけても心配なく使用しています。職員の方も大変感じよく対応してくれます。	80代以上・大丹波
町内で就労している外国人にも観光の取り組みについての意見を伺う。	70代・小河内
民宿業と住民のトラブルが課題	80代以上・中山
奥多摩湖の湖面利用の促進等真剣に要望願います、旧小河内村の悲惨な歴史（固定に沈めたため）	80代以上・大氷川
地元の高齢者の力を借りて受け入れ環境を整えることが必要か（多少の手当てを用意する）	70代・大丹波
観光客で利益を得ている人はよいだろうが関係ない人は観光客が増え今でも迷惑、観光公害を受けていることを忘れないで欲しい、本来静かで良い所のはずが他市に移りたいとかがえているほどである	60代・大氷川
J R 青梅線の青梅駅～奥多摩駅の路線名を奥多摩線とし、分離させる。	60代・小河内
青梅駅～奥多摩駅間に特別な列車（お座敷・食堂車等）を運行させる。	60代・小河内
自然や環境を整備し、観光地としての地域づくり。	60代・大丹波
青梅線は台風や雪の時に運休してしまうので、観光客、登山の帰りに、足止めを余儀なくされたり、弱い部分があります。沿線の木を伐採するなどして強くしてほしいです。通勤・通学している人たちにも不安にならないように。移住を考えている人もその点が重要だと思います。	60代・海沢
紅葉の素晴らしい奥多摩なので、針葉樹が多いので、これを町等で地主と話し合い、必要な場所は針葉樹を買収して広葉樹を植えてもらって紅葉を楽しむ等。日原鍾乳洞の交通については、シーズン中の交通渋滞の問題。例えば、交通規制してバス等で代替輸送する。多摩川沿岸の開発を行う。見どころもあると思う。	80代以上・海沢
奥多摩町そのものと町民さんをまず考えて頂いて、それから先はまずないと思います※スタッフの皆様ご苦労様です（感謝）	70代・常磐

2. 調査結果

2-7. その他、ご意見・ご提案等

Q.その他、ご意見やご提案等ございましたらご記入ください。	年代・集落
YouTube動画やSNS（X、Facebook）で宣伝	70代・大丹波
特色のあるお土産などが欲しい。差し上げられる奥多摩のお菓子などが無い。グッズもない。わさびのグッズも売っているところが良く分からなかった。	60代・小丹波
花を植えてほしい。草の遊歩道をきれいに（掃除をしてほしい）空き店舗の利用。元小川屋のラーメン屋さんも億過ぎて入りづらい。元甲州屋さんのカフェ？か多目的スペース？の見た目がおしゃれでない。愛宕山は貴がうっそうとしていて暗くて怖い。駅前におしゃれなお土産店を空き店舗を利用して作ってほしい。	60代・大氷川
日原昔道（日原古道）の新トレイルコースの新設推進	70代・小丹波
森林の手入れが必要と思われる	70代・川井
さとローグのサウナの煙がひどいと聞いたが、その後、改善されたのかを知りたい。	50代・小丹波
地元の人を職員、アルバイト、パートとした道の駅のような（飲食、食材、土産、特産品等を販売する）施設の整備（地元民も利用できる価格で）	50代・大氷川
廃線になった線路に蒸気機関車を走らせればすごくいい観光になると思う。	70代・梅沢
山葵以外の特産物が欲しい。ワイン、ぶどう	70代・小丹波
奥多摩町はどんな可能で生きていくのか、メインがない。	70代・白丸
自然に触れて心を癒すことが、観光(この地域)の中心になると思う。…（中略）…どうか、人と自然の生き物が共生できるような方策をとっていただけないものではないでしょうか。	70代・小丹波
何をメインにするかが今は重要かと考える。時間が必要かと思うが、まずは固めなければならぬ。情報発信の強化は不可欠であるが、そのためには説得力のある発信をするための調査が必要であり、高齢者の協力は不可欠と思われる。	70代・小丹波
SNSを活用した情報発信を盛んにして、奥多摩町への来客促進を図ることを前提に、観光産業を多角的に展開することで、住民の雇用機会を増やしてもらいたい。	60代・小丹波
●交通手段に関して…（中略）…パークアンドライドで都の協力も仰ぎ電気自動車での観光バス（小型でも）で観光エリアを巡回するなどの手法もあると思います。●通年企画について…（中略）…四季を通じての企画ができるのではないかと思います。●空き家、空き土地の活用…（中略）…町として、空き家の改修をして移住につながる短期ステイや週末ハウス、会員制古民家などの活用ができないかと思います。…（後略）	50代・小河内
観光施設や案内板等の設置の原資にする為の入山税等の徴収を考えても良いのではないかと。	70代・丹三郎
奥多摩は都心からも近く訪れ易い環境にある…（中略）…資本を入れてアウトレットや美術館など箱根の様な展開が出来れば働く場の創出にも繋がり若者の定住化にも繋がるのではないかと	60代・小丹波
百名山、雲取山へのアクセスの充実と登山基地奥多摩の構築	60代・白丸
奥多摩ヤマメのPRと利用拡大	60代・川井
「おてつたび」のように町内産業を体験できて、割安で宿泊できるようなサービスを取り入れるのもよい。一時的ではなく、町での生活をイメージできるような継続な関係を構築できると思う。	40代・大氷川

2. 調査結果

2-7. その他、ご意見・ご提案等

Q.その他、ご意見やご提案等ございましたらご記入ください。	年代・集落
過疎化が進む町であるのに、あんな立派で大金をかけて新庁舎などいらない??…（中略） …小菅村のように山の上にあっても、観光客が寄る道の駅を丹三郎に計画をすれば良かったのでは？あれだけ平らな土地は他にはないですよ。観光があって、働く場所の確保できれば、若者の定住も進むのではないかな？	40代・丹三郎
他県から遊びに来てもらえるような安い料金で入れる公園や水遊び場等を作って人を呼び寄せ過疎化が進んでいるので定住者を増やすような呼び掛けをしたら良いと思う。	40代・大氷川
早く南岸道路を完成させて観光施設等を作る	80代以上・丹三郎
奥多摩町発展の為アピール度は、良いがまるごと沿線が年間を通して奥多摩町及び対象地域にたいしどの程度のメリットがあるかよく分からない？これまで発生しなかった問題と比較してどうなのか？	60代・小丹波
鬼滅の刃に出てくるので下水のマンホールなどにコラボして鬼滅の刃の蓋を作って観光客が謎解きなどをしながら見つけていくようなことをしてもらいたい。観光客に来てもらいたいところに蓋をおけば面白いと思う	50代・大氷川
小菅や丹波山村は観光による商売が上手という感覚はあるが、奥多摩町は昔から町全体で観光に取り組んできたような感じはない。…（中略）…たくさんの補助金を出して一時的に人口を増やしても町外に転居してしまうのでは、やはり観光と同じで、その場限りの対策としか見えません。	60代・境
子供と一緒に楽しめる奥多摩の木材を利用したりした施設が欲しい。	70代・川井
奥多摩には道の駅がない。水産試験場を利用したら。	70代・海沢
地域の人達も気軽に（安く）利用できる所があるとありがたい	70代・小丹波
奥多摩町は観光客の大半が通過する場所になっている。駐車場も少なく、魅力的な施設が少ないので、キャンプ客、登山客のみである。	60代・長畑
観光に来られる方々が何を求めているかデータが必要な データを元に何かを始めるか、今あるものを改善していくか必要では。◎観光にあたり目的は何かと思う。・施設…日帰りか泊りか、・自然(春夏秋冬)…山登り、川遊び、ちょっと散歩・食べるところ・休憩場、少し酔ってお茶…お話し、軽食 ◎受入側・お店が少ない。→後継者不足？観光客が増えたとごみ問題が発生しますが、バランスが難しいです。	70代・海沢
青梅線が「アドベンチャーライン」という愛称だが、電車のラッピングだけではなく、トンネル内にLEDチューブライト等で動物のイルミネーションを設置してみたり、奥多摩工業をイルミネーションして向上や形の綱一などができないか。	70代・海沢
農産物被害に対する獣害対策の更なる強化が必要（シカ・サル・イノシシ・小動物など）クライミングの活用・情報発信	60代・大沢
サイクリングロード又は自転車と車が安心して通行できるようにしてほしい	70代・栃久保
観光の取り組みを行うのは賛成だが、古くから住んでいる人が静かに安心して住めるようにしてください。一定の方が得するような取り組みにならないようにしてください。	50代・白丸
春・秋の郷土芸能への参加等これ以上住民参加はむりと思われます。奥多摩駅駅員の方が正規駅員かわかりませんが心のこもった質問に答えて欲しい。	80代以上・小河内
上記の件で、ポスターも駅に貼ることも考えていただけたら。	70代・白丸

2. 調査結果

2-7. その他、ご意見・ご提案等

Q.その他、ご意見やご提案等ございましたらご記入ください。	年代・集落
住民の澄みやすい環境づくりに力を入れてほしい。ここは東京の一部です。これはという産業もなく、またどうにかしようという試みもない。事前もほったらかし、これでは若者に希望を持たせることはできないでしょう。一度町から出たら、二度と戻ってこない。これが良く分かります。老人は町の町史を知っています。なんでこんなになってしまったのでしょうか？	80代以上・長畑
奥多摩駅前通りの一考を。淋しすぎます。	80代以上・長畑
閉鎖的な暮らしから昔のような自由で開かれた暮らしを！一部ではなく町全体が良くならなければ国立公園とは言い難い。	70代・大氷川
道の駅みたいな物を作る	60代・川井
日帰りが定番 of 奥多摩ですが、一泊してもっともっと奥多摩で過ごしたい、楽しみたいと思ってもらえるようなまちづくりができるといいですね	50代・海沢
今全国的に少子高齢化が進行しております。…（中略）…青梅市と奥多摩町の合併を是非実現して欲しいです。それには奥多摩町がユニークな町に変わる事が前提です。	70代・小丹波
窓口を創ってドラマ・映画のロケハンへの能動的アプローチを謀って聖地巡礼で人を呼び込む…なんて在り来りかな。	50代・棚沢
むかし道の整備	70代・南氷川
食堂は少ないが、ラーメンフェス、カレーフェス、各店舗同一食材で興味深い奥多摩ワサビを使う料理フェスなどなど 神社仏閣スタンプラリー	60代・棚沢
信号機のない横断歩道で歩行者の渡る様子がわかるような配慮をしてほしい。	80代以上・棚沢
東京の他地域市民の奥多摩町へ体験したいことや食べたいもののアンケートや活性化のアドバイザーやボランティアの募集等、広範囲から興味を持てもらう。	60代・小丹波
奥多摩はPRが下手。J Rがすぐ止まるのは問題。観光客の足を止めてしまう	60代・海沢
観光客、インバウンドの宿泊、飲食店の受け入れが十分でない。奥多摩特産のお土産など開発が必要かと思います。	70代・棚沢
地域おこし協力隊の任期終了後のフォローは行わないのですか？志し半ばで離れていきましたね。今回の関係3社。今のところ町のために何をやっているのか分からないですね。すれ違っても会釈も無いです。感じ悪って感じです。	50代・海沢
??奥多摩の自然を生かしたアスレチック施設 ??駅前に足湯	50代・南氷川
場所の問題はあるけど道の駅があるといいですね。	60代・南氷川
・観光地としてのブランディング化・景観を美しく（案内サインなどの統一化）・観光ゴミ箱の設置・宿泊事業者の誘致、支援	50代・大氷川
空家の活用、駐車場を増やす。山の杉を切って使用し、その後は杉は植えない。	60代・南氷川
奥多摩町では収入源が少なく都の補助が欠かせない自治体で事業予算がなかなか思うようにならないのはわかっていますが閉店した店舗をリノベーションして自治会運営の道の駅的なものから始めてはどうかと思います	70代・川井
奥多摩町の観光推進施策が不足、作物もつくれず猿猪鹿カワウの天国となりつつある、逆転の発想で観光推進してほしい、どうすれば小さくてもよい道の駅ができるか検討して、おみせがない	70代・大氷川
移住してくれる人はもちろん、奥多摩町に来て楽しいと言うような町になって欲しい。	60代・小丹波

2. 調査結果

2-7. その他、ご意見・ご提案等

Q.その他、ご意見やご提案等ございましたらご記入ください。	年代・集落
オーバーツーリズムに繋がらないようにしてほしい マナーの悪い観光客対策が必須です。	30代・海沢
お祭りをもっと宣伝したら、外国人観光客も来ると思う。ただしマナーの悪い外国の方もいるので対応が必要だと思う。	50代・海沢
ご苦労様です。このアンケートをして頂く事に敬意を申し上げます。1.奥多摩の観光と言えばダム、自然、緑、山、川、水、空気、星、ドライブコースと思いますが、道の駅も無く残念です。…（後略、提言1～6）	60代・丹三郎
日原鍾乳洞とかに上高地のように季節シャトルバスとかの導入などができれば渋滞も少しは緩和するのではないかと？アウトドアとしては役場下など車が入れたら良い、台数制限で！??	70代・南氷川
観光客が定住や2拠点生活をしたいくなるような働きかけがあるといい。例えば、週末などに駅に仕事や住まいの掲示をするなど。	60代・棚沢
杉を伐採して、桜等の綺麗な花を植樹してほしいです。	50代・栃久保
地域外からの人材、企業によるイノベーションに期待します。	60代・南氷川
外でも飲食ができるように、テーブルとイスがある場所が必要。キャンプ場以外で。	40代・南氷川
観光施設 道の駅みたいな 食事・お土産などできる お店を作り 町民の老若男女が 働く場所も増えて 町の活性化につながるかと思います。観光客の人達が「食事できるところありますか？」と聞かれる事が 多々有ります。	50代・南氷川
釣り場など、観光客が少なくなっているので、観光客を呼び込むイベントを今まで以上に多くして欲しい	70代・大丹波
他の観光地の取り組みを参考に、食事も摂れる休憩施設などあれば、若者からファミリー層にもっと来ていただけたら、活気もでるのかなと、あとは、今はSNSの影響が大きいので、インスタ映えするような何かあればと思います。	60代・南氷川
○駐車場が少ないので繁忙期などは駐車スペースがないというだけで帰される観光客がいる。…（中略）…○遊ぶ場所が…公園のような場所や遊歩道のような気軽に行けるスペースが必要。…（中略）…○電車でくる若者には…若者向けに店舗長屋を作ったかどうかと思っている。…（後略）	40代・梅沢
観光地としての知名度が上がっても、地域が潤わなければ住民は不満と思う。住む側からすれば静かなほうが良いのだから。	50代・境
奥多摩駅から小河内ダムまでの廃線跡をサイクリングロードにし観光客を誘致するのはどうですか？検討して下さい。	50代・小丹波
インバウンド受け入れは必須ですね、氷川界隈の外国人増えていますし。沿線まるごと株式会社の取組も今ひとつよくわかりません。都民の森、セラピーツアー、山ふるももっとインバウンドに売り込んで？もったいないと思います。すぐく小さな「いつものメンバー」で完結している。	60代・小丹波
住民には観光情報が、発信されていないと思う 何とも言えない…	80代以上・大氷川
ツーリングやドライブがてらくる人が多い傾向から十分な駐車スペースと駐輪スペースは必要かなと思う	30代・小丹波
人を呼ぶような工夫があまり見受けられない。	60代・白丸

2. 調査結果

2-7. その他、ご意見・ご提案等

Q.その他、ご意見やご提案等ございましたらご記入ください。	年代・集落
観光業に関わりの無い住民への配慮迷惑の無い様に対応して欲しい。	60代・境
サトローグとかあるが地元の方は高くて行かない、フードコートも奥多摩では高すぎる、観光客だけ狙うなら住民は取り残される、住民にも愛される様に町もバックアップした方が良いのでは、卵道でも行列が出来てるが地元以外の人ばかり、道に並んで通行の邪魔	50代・小丹波
このアンケート自体がすごくいい取り組みだと思います。ありがとうございます。	40代・大氷川
インバウンドに対応してゆくために必要なことは、観光客とのコミュニケーション能力だと思う。…（中略）…ゴミ拾いや自然保護など、今の問題をテーマにしたエコロジスト向けのツアー、ファミリー向けの2拠点生活体験ツアーなどがあるといいと思う。	50代・海沢
近年 山や道路脇の草木が荒れているように思います 山の整備をし 花が咲く木などを植えて美しい野山がある町になることを望みます	70代・大氷川
ここにはアーティストも職人もいるので、もっと多様なショップが誕生してもいいと思います。クロスコラボレーションを行い、定期的にもっと面白い商品や作品を生み出すことで、さまざまなタイプの人たちが奥多摩に足を運んでくれるようになるはずです。	30代・小丹波
レンタル自転車など利用されている観光客がいて、奥多摩の道路は狭い、カーブが多いので、車を運転している者からは非常に邪魔で怖いです、車あってなんぼのところですので、だからといって、観光して去っていく人のため地元住民が引越すのもどうかと思いますし、	60代・丹三郎
5で回答したことを進めてください	60代・大氷川
益々活性化する奥多摩を期待して応援しています！その為に協力させて頂きたいと思っています！	50代・小丹波
登山、森林セラピーはすでに有名だが、もう少し簡易なウォーキングコースの整備をするとともに地元の神社仏閣、道祖神巡りなどパワースポットを活用した観光ストーリーの構築。小河内地域など過疎で風光明媚な場所、慰霊碑や忠霊塔そばに「平和の鐘」などの観光スポットを作り、獣除けを兼ねた鐘の音を観光客に出してもらうのも手。	50代・小河内
雇用には町外の若い人材を使っていただき町との縁の深めていただきたい。	50代・南氷川
認定観光ガイド制の設立、国立公公園の中に人々の生活もあるという事の周知活動	50代・海沢
道の駅のような、アクティビティなども楽しめる様な施設が出来れば、住民の働く場も出来、町外へ出ていってしまう事も無くなる上、観光客の集客にも繋がるのではないかなと思うので、検討をお願い致します。	50代・小丹波
観光に来て楽しめる、住んでも快適、遊びにいた人が住みたいと思える街を目指してほしいです。都心から近いのに自然豊かなところが奥多摩の良さだと思うので、自然の豊かさは残してほしいです。観光地化はされすぎないでほしいです。	50代・川井
青梅線川井駅が、電車とホームの間が広すぎて地元住民含めキャンプやハイキング客などに危険な状態になっている。 奥多摩駅前通りが少し暗すぎると思います。（青梅街道まで）閉店や空間が目立っている。	80代以上・海沢

3. 課題解決に向けた施策案

本調査では、住民視点での観光に対する評価・要望を把握することができた。これらを踏まえ、今後の奥多摩町における観光による地域活性化に向けて、以下の取り組みを検討したい。

1. 既存資産を活かした「食・憩い」の場づくり

～ハード整備を待たず、今ある「空き家・空間」を地域の魅力に転換する

・「店舗長屋」とシェアキッチンの展開

⇒空き店舗を小規模に区切り、地域事業者等が低リスクで出店にチャレンジできる仕組みを作る。
これにより、多様な食の選択肢を住民と観光客の両方に提供する。

・「チェアリング・デイキャンプ」による滞在時間の延長

⇒川沿いや空地进行を簡易整備し、観光客が「ただ通り過ぎる」のではなく、風景の中でゆっくり過ごせる「場所（居場所）」を提供する。

・キッチンカーの戦略的配置

⇒既存店との競合を避けつつ、混雑エリアや食事処の少ないスポットにキッチンカーを誘致し、観光客の「食の難民化」を防ぐ。

2. デジタル・IPと住民理解を繋ぐPR戦略

～「外向き」の発信と「内向き」の共有をセットで行い、地域一体となった活性を行う。

・ターゲットを絞ったインフルエンサー連携

⇒旅コンテンツ、アウトドア、登山、グルメなど、その分野に強いコアな発信者と組み、特定のターゲットに深く刺さる情報を届ける。

・「観光の見える化」による住民理解の促進

⇒観光が地域にどう貢献しているか（売上、雇用、賑わいなど）を広報で丁寧に共有し、住民が「観光は自分たちのプラスになる」と感じられる土壌を作る。

3. 住民参加による「おもてなし」とマナーの向上

～マナー対策を「排除」ではなく、地域の「品格」を高める取り組みへ昇華させる。

・シニアの知恵を活かしたガイドの起用

⇒地域の自然や歴史を知り尽くしたシニア世代に「役割」を依頼し、彼らの声を反映したコンテンツ制作を通じて、多世代が活躍できる場を作る。

・「やさしいデザイン」によるマナー周知

⇒強い警告ではなく、景観に馴染むデザインやSNS動画を使い、観光客が自発的にルールを守りたくなる雰囲気を作る。

4. 景観のクリーンアップと安全性への投資

～日常の丁寧なメンテナンスにより、リピーターを生む最大の「おもてなし」を行う。

・スポット清掃と導線の美化

⇒駅前や遊歩道入口など、観光客の目に付く場所を住民と協力して清掃し、清潔で安全な町という印象を定着させる。

・継続的なゴミ対策

⇒ゴミ袋の販売や回収サイクルの最適化など、現実的なゴミ処理システムを構築し、ポイ捨てを物理的に防ぐ仕組みを整える。

4. 総括

地域と共に歩む持続可能な観光への挑戦

本調査の結果、奥多摩の観光振興において最優先すべきは、既存の地域資産の再定義と住民の生活環境への配慮を両立させる「質的な改善」であることが明らかになった。今後の施策展開にあたっては、大規模な新規開発ではなく、空き資産を活用した「食・憩いの場」の創出、ターゲットを絞った効率的なPR、そして住民参画によるマナー対策や景観維持等を、優先度の高い項目として位置づける。これらは、単独の組織で完結するものではなく、行政や観光協会との緊密な連携のもと、各々の役割を補完し合うことで初めて実効性を持ち得るものとする。

本調査で得られた客観的なデータに基づき、今後、地域の実情に即した小さな成功事例を着実に積み上げていく。そして、行政・地域事業者、地域住民が足並みを揃え、持続可能な観光地経営を前向きに推進していくための基盤づくりに、引き続き取り組んでいく。

策定委員会	
日付	議事

町内ワークショップ（WS）	
日付	議事

1

4/30
(本日)

計画策定にあたって全体像・方向性のご共有・協議

7/1

町内資源・課題を踏まえた「奥多摩町
ツーリズム」の定義
(発信したい、ありたい姿、チャレンジ
したい活動)

2

8/24

WS結果を踏まえた方針・施策概要の協議
計画骨子案のご共有・協議

9/30

参考事例の共有と、奥多摩町で取り組み
たいテーマ・内容のディスカッション

3

11/30

WS結果を踏まえた方針・施策の精緻化、
計画中間まとめ案と重点施策のご共有・
協議

11/11

骨子案と重点施策のご共有・協議
パブリックコメント前案内

12月 パブリックコメント

4

2/8

パブリックコメント内容協議、
計画最終まとめ案のご共有・協議
答申内容決定

策定委
日 程

各協議会・会議体・関係団体

観光商工係関連

農林水産係関連

森林保全活用係関連

1

4/30
(本日)

4月／小口事業資金融資制度審議会
5月／観光協会理事会
6月／観光協会総会

農業推進協議会
内水面漁業振興事業協議会

2

8/24

7月／ 7/1 ワークショップ①
8月／
9月／小口事業資金融資制度審議会
9/30 ワークショップ②

農林業等振興事業協議会
治助イモ普及促進協議会

農業推進協議会

林業振興事業協議会

3

11/30

10月／青梅商工会奥多摩支所評議員会
11月／ 11/11 ワークショップ③
12月／観光協会理事会

内水面漁業振興事業協議会

農林業等振興事業協議会
治助イモ普及促進協議会
農業推進協議会

林業振興事業協議会

4

2/8

1月／
2月／
3月／

12月 パブリックコメント

1月 パブコメ状況に応じ各協議会等開催調整
2月 町議会全員協議会にて計画説明